

現況と課題に関する意見と総合計画から抽出したその他の視点

検討委員会での現況と課題に関する意見 + 『総合計画』から抽出したその他の視点			分野（例）	市町の総合計画の基本目標や施策の大綱など
自然の保全と活用について 水源地の保全と活用について 森林の保全について	河川環境の改善について 湖の活用について	里山・谷戸の環境について 環境問題への取組について	1 自然環境	・自然と調和した都市基盤の創造(ウ) ・人と自然にやさしい快適環境のまち(エ)
交通渋滞の解消について 道路・高速道路等の整備について 鉄道の延伸整備について バスのネットワークについて 道路附帯施設の改善について 路上駐車等の解消について 自転車の活用について	地域の拠点の形成について 計画的な土地利用について バランスのとれた土地利用について 駅前密集市街地の改善について 特色ある地域づくりについて 土地利用規制の運用について 適正な宅地開発について 米軍基地について	水源地での下水道の整備について ごみ対策について 情報基盤の整備について 都市的地域の緑地整備について 景観形成について 公営住宅の改善について サイン・案内板の整備について 都市ガスの整備について 水源地域での上水道の整備について	2 生活環境・都市環境	・ゆとりある みどり豊かな環境共生都市(ア) ・魅力ある生活創造都市(イ) ・いきいきと暮らせる生活環境の創造(ウ)
防災対策について 治水対策について 消防体制について	公害対策について 防犯対策について 救急体制について	交通安全対策について 安全な消費生活について	3 安全・安心	・安全で快適な生活創造都市(イ) ・安全で暮らしやすい生活環境のまち(エ)
観光拠点の連携について 自然のレクリエーション拠点について ｽﾎｰｯ・レｸﾘｰｼﾞｮﾝの推進について 既往観光施設の有効活用について	湖の観光利用について 街並みの観光資源への活用について 伝統的行事について	観光農業・市民農園について 子どもの遊び場の確保について 国際交流の推進について	4 交流	・躍動し 魅力あふれる交流拠点都市(ア)
産業の振興について 企業誘致について	農業の保全、担い手について 林業の保全、担い手について	商業の活性化について 高齢者・障害者の雇用促進について	5 産業	・活力ある豊かな生活創造都市(イ) ・新しい流れをつくる産業の創造(ウ) ・新しい環境に対応した地域産業のまち(エ)
学校施設の充実について 学校教育の充実について 生涯学習の推進について	文化施設の活用について 地域内でのこどもの教育について 文化財の保護について	学校給食の実施について 幼児教育の充実について	6 教育・文化	・豊かな人間性を育む生活創造都市(イ) ・個性を伸ばす教育・文化の創造(ウ) ・ひとと自然が織りなす生涯学習のまち(エ)
少子高齢化について 医療体制の充実について 児童福祉の充実について	高齢者福祉の充実について 障害者福祉の充実について	地域福祉の充実について 低所得者福祉の充実について	7 健康・福祉	・学びあい あたたかさのある福祉文化都市(ア) ・健康でゆとりある生活創造都市(イ) ・すこやかで心ふれあう健康・福祉の創造(ウ) ・安心して暮らせる福祉のまち(エ)
地域コミュニティの形成について 自治会の運営について	住民と行政の関係について	男女共同参画社会の形成について	8 参加・協働	・住民とともに歩むまち(エ)
行政サービスについて 施策の実施について 財政基盤について	行政職員について 役所・役場の位置について 広報・広聴活動の推進について	情報公開の推進について 近隣市町村との連携について	9 その他 (行財政)	・計画の推進にあたって(イ)

検討委員会での現況と課題に関する意見 総合計画から抽出したその他の視点

ア：相模原市 21 世紀総合計画 イ：城山町新総合計画
ウ：第二次新津久井町総合計画 エ：第 4 次相模湖町総合計画
目標や施策の大綱は、該当する分野に限らず他の分野に対する施策についても総括的に示しているものもあります。





各市町の総合計画比較表

	相模原市	城山町	津久井町	相模湖町
名称	相模原市21世紀総合計画	城山町新総合計画	第二次新津久井町総合計画	第4次相模湖町総合計画
計画期間	基本構想:平成10年度～21世紀初頭 基本計画:平成11年度～平成22年度(12年間) 実施計画:平成15年度～平成18年度(4年間)	基本構想:平成13年度～平成22年度 基本計画:平成13年度～平成22年度(10年間) 実施計画:平成13年度～平成17年度(5年間)	基本構想:平成3年度～平成22年度 基本計画:平成13年度～平成17年度(5年間) 実施計画:平成13年度～平成15年度(3年間)	基本構想:平成10年度～平成29年度 基本計画:平成10年度～平成19年度(10年間) 実施計画:平成15年度～平成19年度(5年間) 毎年策定
将来都市像	「輝きと愛があふれる人間都市 さがみはら」	「水と緑に町民の健やかさがこだま する憩いある生活都市・城山」	「水源文化都市・津久井」	「ひとと自然をつなぐ活力ある林間都市・相模湖町」
基本理念	・みどりに代表される自然、先人達の英知と努力、市民の活力を財産として発展してきました ・市民一人ひとりが夢や生きがいを持つ ・安心して生活できる地域社会の形成 ・次世代に誇れるまちづくりを進める ・「人権尊重」を基本理念としてまちづくりを進める	・生活優先のまちづくり ・町民参加のまちづくりの実現 ・創造性とアイデアの発揮 ・広域的な連携と交流	丹沢の山並み、広大な森林、湖、川等の「自然に従う」心と、人々が住まい、働き、集う等の活力を生み出す場としての「自然を造形する」心で自然と共生する理想都市を築くこと	・相模湖の個性の発揮 ・ゆとりと思いやりの地域社会づくり ・住民の手によるまちづくり
施策の大綱の大項目(基本目標)	・「学びあい あたたかさのある福祉文化都市」をめざして ・「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして ・「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして	・魅力ある生活創造都市を目指して ・安全で快適な生活創造都市をめざして ・活力ある豊かな生活創造都市をめざして ・健康でゆとりある生活創造都市をめざして ・豊かな人間性を育む生活創造都市をめざして	・自然と調和した 都市基盤 の創造 ・いきいきと暮らせる 生活環境 の創造 ・すこやかで心ふれあう 健康・福祉 の創造 ・個性をのばす 教育・文化 の創造 ・新しい流れをつくる 産業 の創造	・安心、安全なまちづくり ・ひとと自然が響きあう、美しいまちづくり ・新たな時代を拓く交流の広がるまちづくり
施策の大綱	「学びあい あたたかさのある福祉文化都市」をめざし 1-1安心して生活できる福祉社会をつくります 1-2生涯にわたる健康づくりを進めます 1-3子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます 1-4人間性豊かな子どもを育成します 1-5いきいきとした生涯学習社会をつくります 1-6彩りのある市民文化を創造します 1-7個性豊かなコミュニティづくりを進めます 1-8国際平和と人権が尊重される社会を実現します 「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして 2-1人と自然にやさしい地域社会をつくります 2-2水やみどりの保全と創造に努めます 2-3安全に暮らせる都市の実現をめざします 2-4美しいまちなみと良好な居住環境を創造します 2-5基地全面返還の実現をめざします 2-6総合的、計画的な土地利用を進めます 「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして 3-1立地特性を生かした産業の振興をめざします 3-2質の高い都市基盤の整備を進めます 3-3利便性の高い公共交通網の確立をめざします 3-4広域交流都市を形成します 3-5輝き魅力あるまちづくりを進めます 3-6高度情報化への対応を図ります	魅力ある生活創造都市をめざして 1-1未来へつなぐ都市基盤をつくるためには 1-2情報化・国際化社会に対応するためには 安全で快適な生活創造都市をめざして 2-1町民の安全を守るためには 2-2持続可能な環境を次世代に引き継ぐためには 活力ある豊かな生活創造都市をめざして 3-1活力に満ちた産業を振興するためには 3-2安定した消費生活・就労環境を維持するためには 健康でゆとりある生活創造都市をめざして 4-1生涯健康づくりを推進するためには 4-2心ふれあう福祉社会をつくるためには 豊かな人間性を育む生活創造都市をめざして 5-1豊かな人間性を育むためには 5-2いきいきとした文化・地域づくりのためには 計画の推進にあたって 6-1開かれたまちづくりを実現するためには 6-2行財政運営の効率化を図るためには	1 緑の保全と活用 2 水の保全と活用 自然と調和した 都市基盤 の創造 1-1秩序ある土地利用の推進 1-2根幹となる基盤の形成 いきいきと暮らせる 生活環境 の創造 2-1安心して住める生活環境の確立 2-2快適な生活環境の整備 2-3美しい街並みの形成 2-4ふれあいのある地域づくり すこやかで心ふれあう 健康・福祉 の創造 3-1かけがえのない健康の増進 3-2思いやりのある福祉の充実 3-3男女共同社会の形成 個性をのばす 教育・文化 の創造 4-1豊かな心を育む学校教育の推進 4-2生きがいのある生涯学習の推進 4-3個性ある地域文化の推進 4-4広い視野での国際理解と交流の推進 新しい流れをつくる 産業 の創造 5-1地域の特性を生かした農林業の育成 5-2魅力と活力に満ちた商工業の振興 5-3地域資源を生かした都市近郊型リゾートの形成 5-4新しい機能を集積した産業環境の形成	安心して暮らせる福祉のまち 1-1みんなですずめる健康づくり 1-2住民参加による地域福祉の推進 1-3高齢者のいきいきとした暮らしの実現 1-4障害者の自立生活支援と社会参加の促進 1-5児童と子育て家庭への支援 1-6自助と互助による生活保障 ひとと自然が織りなす生涯学習のまち 2-1人権の尊重 2-2豊かな心をはくむ就学前教育 2-3人材をはくむ学校教育 2-421世紀を担う青少年の健全育成 2-5地域で学ぶ生涯学習の推進 2-6スポーツ・レクリエーションの振興 2-7地域文化の創造・育成 2-8個性をはくむ地域間・国際交流の推進 2-9男女共同参画社会の実現 2-10活力とふれあいのあるコミュニティの形成 ひとと自然にやさしい快適環境のまち 3-1自然環境の保全と活用 3-2みどり豊かなまちづくり 3-3特色を高めるまちづくり 3-4快適環境を支える上・下水道の整備 3-5廃棄物の統合処理の推進 3-6環境に配慮したまちづくり 安全で暮らしやすい生活環境のまち 4-1計画的な土地利用 4-2良好な市街地の整備 4-3快適な居住環境の整備 4-4安心できる防災体制の確立 4-5消防・救急体制の充実 4-6交通安全・地域安全対策の充実 4-7豊かで安心できる消費生活の確立 4-8広域交流と住民生活を支える道路ネットワーク 4-9利用しやすい公共交通の充実 4-10高度な情報通信ネットワークの整備 新しい環境に対応した地域産業のまち 5-1立地性を活かした農業の振興 5-2林業の新たな展開 5-3優れた自然環境を生かした産業の振興 5-4地域の生活を支える商業・サービス業の活性化 5-5やすらぎのある観光地づくり 5-6ゆとりある就業環境づくり 住民とともに歩むまち 6-1住民参加の促進 6-2広域的な連携 6-3総合的な行政運営 6-4健全な財政運営
計画の体系	部門(3) - 大柱(19) - 中柱(49) - 小柱(132)	部門(6) - 大柱(12) - 中柱(30) - 小柱(130)	部門(5) - 大柱(17) - 中柱(42) - 小柱(140)	部門(6) - 大柱(42) - 中柱(114) - 小柱(328)
編集上の注記	基本理念は文章から項目を抜粋			

現況と課題に関する意見のまとめ

検討委員会での意見の視点			
分野(例)		意見のまとめ	
1 自然環境	自然の保全と活用について 水源地の保全と活用について	森林の保全について 河川環境の改善について	湖の活用について 里山・谷戸の環境について
2 生活環境・ 都市環境	交通渋滞の解消について 道路・高速道路等の整備について 鉄道の延伸整備について 地域の拠点の形成について 計画的な土地利用について バランスのとれた土地利用について 水源地での下水道の整備について ごみ対策について 情報基盤の整備について	バスのネットワークについて 道路附帯施設の改善について 駅前密集市街地の改善について 特色ある地域づくりについて 土地利用規制の運用について 都市的地域の緑地整備について 景観形成について 公営住宅の改善について	路上駐車解消について 自転車の活用について 適正な宅地開発について 米軍基地について サイン・案内板の整備について 都市ガスの整備について
3 安全・安心	防災対策について 治水対策について 消防体制について	公害対策について 防犯対策について	救急体制について 交通安全対策について
4 交流	観光拠点の連携について 自然のレクリエーション拠点について スポーツ・レクリエーションの推進について	既往観光施設の有効活用について 湖の観光利用について 街並みの観光資源への活用について	伝統的行事について 観光農業・市民農園について 子どもの遊び場の確保について
5 産業	産業の振興について 企業誘致について	農業の保全、担い手について 林業の保全、担い手について	商業の活性化について
6 教育・文化	学校施設の充実について 学校教育の充実について 生涯学習の推進について	文化施設の活用について 地域内でのこどもの教育について	文化財の保護について 学校給食の実施について
7 健康・福祉	少子高齢化について 医療体制の充実について	児童福祉の充実について 高齢者福祉の充実について	障害者福祉の充実について
8 参加・協働	地域コミュニティの形成について	自治会の運営について	住民と行政の関係について
9 その他 (行財政)	行政サービスについて 施策の実施について	財政基盤について 行政職員について	役所・役場の位置について

検討委員会での現況と課題に関する意見のまとめ

<p>意見の整理例</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 生活環境・都市環境 3 安全・安心 4 交流 5 産業 6 教育・文化 7 健康・福祉 8 参加・協働 9 その他(行財政) 	<p>現況と課題のまとめ</p> <p>自然の保全と活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津久井3町は自然に恵まれているが、環境に対して意識や、緑や水の評価・価値が低すぎる ・津久井の自然を開発せずに、自然を活かし、共存する地域づくりが必要である <p>水源地の保全と活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水源を有している。水源水質の保護と地域整備の発展を両立させなければならない <p>森林の保全について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の森林財産区を有している <p>河川環境の改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川にゴミを捨てられやすく、境川の汚濁などもみられ、蜚の棲める川に戻す工夫が必要である <p>湖の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景色の良い相模湖、津久井湖が汚れていて、観光資源として活かしきれていない。水質改善が急務である <p>里山・谷戸の環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小松や城北地区の里山・谷戸の環境、葉山島の水田景観が良好である 	 <p>横山丘陵緑地（相模原市）</p>  <p>城山湖（城山町）</p>  <p>津久井湖（津久井町）</p>  <p>石老山（相模湖町）</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【検討委員会での意見】 良いところ 課題

相模原市	城山町	津久井町	相模湖町
<p>【良いところ】</p> <p>自然が残っている 相模川などの水辺空間のオープンスペースが確保されている 北相の中心地にふさわしい市街地とガケ線の緑を大切にしているのは気持ちが良い 60万人人口都市の割には緑が多いのが特徴。この緑を大切にしていかなければならない 合併後は更に緑が増える。この対策をどの様にするかが大切</p> <p>【課題】</p> <p>山や川、森林等の自然に親しめる環境に乏しい。「自然」らしい自然がない ビルばかりで、河川敷まで人工的である</p>	<p>【良いところ】</p> <p>自然環境（森林、城山湖、相模川）に恵まれている。 空気がきれい 水源地を持っている 町の森林財産区がある 山の散策と山の幸を楽しめる 小松や城北地区の里山・谷戸の環境・風景は貴重 葉山島の水田景観が良好 人口の割に、自然が残っている。居住と自然とが上手く別けられている</p> <p>【課題】</p> <p>山、湖の自然環境をいま少し活かさないか 津久井街道沿いも飲食店等が建ち並び、町の姿がかわりつつある。あまり、自然が破壊されると城山本来の良さが失われる 河川にゴミを捨てられやすい 境川の汚濁がある。町田、相模原津久井郡で蜚の棲める川に戻す工夫が必要</p>	<p>【良いところ】</p> <p>大自然、四季、里山、畑、森 自然が豊かで広がりがあり、水と空気がきれい。名実ともに広大かつ雄大な「自然・緑」。国定公園がある 津久井湖があり、景色がよい 水源地を持っている。道志川の水源は、県内都心部へは大切な役割を果たしている。津久井湖水資源の恩恵、発電、工業、農業用水が豊富 町の広大な面積と森林財産区がある</p> <p>【課題】</p> <p>津久井湖を観光資源として活かしきれていない 緑や水の評価・価値が低すぎる。大切だと思ったら、それを守り育てる資本を投下すべきであり、担保価値（評価額）も高くすべきである 下水道の施工率が低い為か湖水にアオコが発生。バッキ補足、水質改善が急務である 津久井の自然を観光地化してしまわない活用が出来たら良い。工夫すれば多くの市民が利用できる</p>	<p>【良いところ】</p> <p>みどり豊かで水、空気がきれい。県立自然公園がある 神奈川県の水源地である相模湖がある 相模湖の水のある風景は非常によい 都会から一時間の大自然 自然に恵まれ古い歴史と文化がある</p> <p>【課題】</p> <p>山、湖という恵まれた自然をいま少し活かさないか 相模湖、津久井湖とも汚れている。相模湖の水面、津久井湖共に水際のゴミが目立ち近づく汚い感じである。飲料に使っているので工夫が必要 自然の破壊、世俗化 山間で冬は非常に寒い</p>
	<p>【良いところ】</p> <p>豊かな自然（城山・相模湖・津久井） 津久井・相模湖の豊かな自然を守り育てなければいけない 津久井の住まい方を考える。環境に優しい暮らし方をしないとイケない 津久井地域は、湖と緑が大きな財産なので、これを活かしたまちづくりが必要</p>	<p>【課題】</p> <p>自然にめぐまれているのに環境に対して意識が低い 豊かな自然と住民との共存 緑が多い住環境の中で生活したい 水源は観光資源として大切である 水源水質の保護と地域整備の発展を両立させなければならない</p>	

検討委員会での現況と課題に関する意見のまとめ

意見の整理例		現況と課題のまとめ			
意見の整理例	1 自然環境	<p>(1)交通</p> <p>交通渋滞の解消について</p> <ul style="list-style-type: none"> 相模湖（R412、R413、R16）～相模原までの主要な道路の土日、祭日、通勤時間の交通渋滞が多い <ul style="list-style-type: none"> …相模原R16の東部 …久保沢～R412～三ヶ木間 …津久井日赤～久保沢 …相模湖駅（R20） 駅前の四つ角の渋滞 …相模湖インターのR413 <p>道路・高速道路等の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央高速道路があり便利だが、相模湖ICで混雑する 津久井広域道路とさがみ縦貫道路の早期実現が重要 <p>鉄道の延伸整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> 相模原市、相模湖町は鉄道が通っていて便利な一方、城山町、津久井町は駅から遠く不便。橋本駅を起点に軌道（モノレール等）を津久井地区方面に敷いてほしい <p>バスのネットワークについて</p> <ul style="list-style-type: none"> バスのネットワークが悪く、バスの本数が少ない。バス路線も減っている <p>道路附帯施設の改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> R16は、自転車交通や歩行者対策、美観、サインが不十分である <p>路上駐車について</p> <ul style="list-style-type: none"> 相模原市内の路上駐車が多い <p>自転車の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> 相模原市内は、自転車が便利である 			
	2 生活環境・都市環境				
3 安全・安心					
4 交流					
5 産業					
6 教育・文化					
7 健康・福祉					
8 参加・協働					
9 その他(行財政)					
【検討委員会での意見】		良いところ	課題		
相模原市		城山町	津久井町	相模湖町	
<p>(1)交通</p> <p>【良いところ】</p> <p>交通の便がよい。都内や横浜への周辺アクセスがよい。周囲を鉄道網に囲まれているので、外の地域に出るのに便利。横浜線、相模線、京王線、小田急線という電車網が老若男女を問わず、生活の向上に貢献している。橋本近辺はどこに行くにも便利</p> <p>R16は、市内へ出かけるときの基準となり解りやすいバス交通が充実している</p> <p>自転車を使えば便利である</p> <p>道路、歩道の整備が比較的良好である駐車場が充実している</p> <p>【課題】</p> <p>相模原の道路は主要なもののほど渋滞している。土日の交通渋滞が多い</p> <p>…R16～R246、相模原R16の東部</p> <p>自動車による交通渋滞、騒音、排気ガスが深刻である</p> <p>駅前が雑然としており、交通渋滞が慢性化している。違法駐車も多い</p> <p>相模原の中央部に公共交通が少ない</p> <p>市域内のバス交通ネットワークが悪く、バスの本数が少ない。バス路線が減っている</p> <p>R16は自転車交通や、歩行者対策、美観、サインは不十分である</p> <p>R16は前線3車線にして、右左折レーンを増やす必要を感じる</p> <p>繁華街等での路上駐車が多い(駐車スペースが少ない、車は市民の必需品)</p>		<p>(1)交通</p> <p>【良いところ】</p> <p>近い将来さがみ縦貫道路が開通する</p> <p>交通量が比較的少なく、騒音なども小さく静かである</p> <p>各方面の行楽地へのアクセスもそこそこ良い</p> <p>【課題】</p> <p>通勤ラッシュ、土日ともなるとR413の混雑がすごい、周辺生活道路にも迂回車が進入してくる、自転車の走りづらい国道がまだある</p> <p>…久保沢～R412～三ヶ木間</p> <p>…津久井日赤 - 久保沢</p> <p>3町合併後の広さと交通網の充実整備の必要性を実感。交通渋滞解消、観光拡充のためにも津久井広域道路とさがみ縦貫道路の早期実現が重要</p> <p>交通アクセスが悪い。ターミナル駅から遠い</p> <p>バス便が不便・所要時間不安定</p> <p>電線の地中化が一部だけでもできないものか</p> <p>【課題】</p> <p>特に津久井三町は交通の便が悪い</p> <p>交通～不便と観光産業にも役立つように橋本駅を起点に軌道で津久井地区方面に敷く。モノレール等。</p>	<p>(1)交通</p> <p>【良いところ】</p> <p>幹線道路（R412、R413）が、産業、観光、通勤、通学にフルに活用されている</p> <p>高速道路のインターが近い</p> <p>京浜、相模、八王子、町田地区へ通勤可能</p> <p>【課題】</p> <p>幹線道路であるR412とR413の慢性的渋滞(幹線道路がこの2線しかない)新小倉橋開通で緩和された部分もあるが、一部だけである</p> <p>…久保沢～R412～三ヶ木間</p> <p>…津久井日赤 - 久保沢</p> <p>幹線道路から生活道路に入ると狭い</p> <p>交通が不便。定期バスの本数が少ない。津久井街道は、慢性渋滞している</p> <p>電車がないので、通勤・通学に支障がある</p> <p>駅から遠い、自動車がなくては不便。橋本まで遠く、通勤が大変に思う</p> <p>津久井に鉄道ないことから、車多い</p> <p>地下鉄での京王線乗り入れ、または、モノレールでの相模湖へ連絡繋げる</p>	<p>(1)交通</p> <p>【良いところ】</p> <p>中央高速道路、インターチェンジがあり便利</p> <p>R20（甲州街道）R412がある</p> <p>JR中央本線が通っている。駅がある。最近では東京直通が多いので便利</p> <p>【課題】</p> <p>橋が多いため渋滞（特に通勤時間帯）が発生し時間がかかる。休日の交通渋滞</p> <p>…相模湖（R412、R413、R16）～相模原まで全部</p> <p>…相模湖駅（R20） 駅前の四つ角の渋滞</p> <p>…相模湖インターでR413が混雑する</p> <p>高速が相模原までこない</p> <p>道が狭い。歩道の整備等が遅れている</p> <p>夜間の電車本数が少ないため不便</p> <p>山坂でバス停までの時間がかかる。バス路線が少ないため、老人等にとっては不便</p> <p>駅前タクシーが独占2台しかないため、全く使えぬことがしばしばある</p>	



国道16号（相模原市内）



バス（城山町）





中央自動車道（相模湖町）



相模湖駅（相模湖町）

検討委員会での現況と課題に関する意見のまとめ

<p>意見の整理例</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 生活環境・都市環境 3 安全・安心 4 交流 5 産業 6 教育・文化 7 健康・福祉 8 参加・協働 9 その他(行財政) 	<p>現況と課題のまとめ</p> <p>(2)土地利用</p> <p>地域の拠点の形成について</p> <ul style="list-style-type: none"> 相模原/大野/橋本/上溝がバラバラだが、中心街がたくさんあるのは魅力的。一方、市民が一体になるシンボル(いわゆるまちのへそ)がない <p>計画的な土地利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> 無計画な開発が多いと良好な社会資本の蓄積に結びつかない <p>バランスのとれた土地利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通と買い物を考えると便の良い所と悪い所がはっきりしている。 <p>駅前密集市街地の改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅周辺の密集市街地で再開発が必要と思われる危険地帯がある <p>特色ある地域づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 津久井や相模湖方向に行く通過点という感じがある。城山町は相模原市のフリンジ的位置(西の境)で印象が薄いなど地域性を感じない <p>土地利用規制の運用について</p> <ul style="list-style-type: none"> 津久井地域では過疎防止として、農用地の網で規制されている土地の利用を考える <p>適正な宅地開発について</p> <ul style="list-style-type: none"> 相模原の地価が下がり、相模湖町から引っ越してしまう <p>米軍基地について</p> <ul style="list-style-type: none"> 街の中心に広大な基地があり都市、交通を遮断している 	 <p>相模大野駅周辺(相模原市内)</p>  <p>城山町中南部(城山町)</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【検討委員会での意見】 良いところ 課題

相模原市	城山町	津久井町	相模湖町
<p>(2)土地利用</p> <p>【良いところ】</p> <p>若い「まち」という感じで、明るいイメージを持つ住居、産業、商業地域面積が広く人口が増加している橋本、町田、相模大野、古淵など大きな街がある。地域的に、相模原/大野/橋本/上溝がバラバラだが、今とってみれば、中核地がたくさんあるのは魅力的北相地域の中心的存在、3町との合併によりバランスの良い自立性の高い政令指定都市となる土地が平坦。都市部と農村部が混在している人口が多く活気がある。買い物がしやすく安い駅周辺は色々な施設が多く便利。ターミナル駅周辺は非常に活気がある都市計画の優秀さ「あじさい通り」がよかった。相模原市内だが、津久井広域道路に通り風の特徴を持たせるとよい。心理的一体化</p> <p>【課題】</p> <p>南北が分断されているイメージがある。北部に対するなじみがうすい、混雑している。広すぎるし、人口も多すぎるので同じ市という一体感がない。南北に長い</p>	<p>(2)土地利用</p> <p>【良いところ】</p> <p>細長い、通過交通が多いなどの地理的ハンデを感じさせない、まちとしてのまとまりがある自然が豊かで住環境がよい。バランスの良い住宅都市町田、相模原のベッタウンとして発展相模原市と陸続き、平地。相模原市に隣接して生活圏を共有していること</p> <p>いろいろな面で「古い」ところと「新しい」ところが混在しており、何となく落ち着く町である若葉台、原宿、町屋等の住宅地と小倉地区等の自然地域等の役割がよくわかる城山若葉台団地は、緑に包まれた街並みがきれい。今後、道路計画等が進むと戸建住宅の立地等が増えると思われるが、水源地域津久井にふさわしい暮らし方・住まい方を具現化する方策を考える必要がある</p> <p>【課題】</p> <p>町としての特色が感じられない。まちに活気がない相模原市の一部という感じがする。相模原市のフリンジ的位置で印象が薄い。津久井と相模原の間であまり地域性を感じない</p>	<p>(2)土地利用</p> <p>【良いところ】</p> <p>歴史を感じるまち。津久井町の歴史は古く優れた文化があり、また各地区においては親密な連帯感がある土地が比較的低廉で住宅を建設しやすい人口密度の低さ津久井郡の中心地町の面積が広い</p> <p>【課題】</p> <p>集落が離れていて寂しそう。居住地が点在している。広すぎてまとまりがない町面積の半分以上が森林等である津久井郡の中核としての活力や吸引力に欠ける土地利用に制限がかかりすぎている無計画な開発が多く良好な社会資本ストックに結びつかない金原工業団地・国道413号青野原バイパス周辺で、耕作放棄された農地・未利用地が目立つ。営農意欲もないのだし、国道沿い、また津久井広域道路計画等のこともふまえて土地利用のあり方を考えるべき</p>	<p>(2)土地利用</p> <p>【良いところ】</p> <p>高速ICの名称は、知名度を上げるには大変有効である。関西でも相模湖をしっている人もいる津久井郡4町の中でも一番ネームバリューがある住みやすそう小原宿の面影を残す景観がいい</p> <p>【課題】</p> <p>湖からJRの駅に至る一体に、住宅が雑然と密集している感じ駅、高速道路のICがあるのに、駅前商店街等の元気が無く、住宅地もあまりない。駅前商店街の活気がないうえ景観も乱雑相模原の地価が下がり、相模湖町から引っ越してしまう現状湖がある位で特徴がない。相模湖以外何があるか知らない利用可能な土地が少ないこともあり、これからの発展が難しそう</p>

〔検討委員会での意見〕 良いところ 課題			
相模原市	城山町	津久井町	相模湖町
<p>市民が一体になるシンボル(いわゆるまちのへそ)がない。大都市だが、ただ人口が多だけで、都市として特長がない。独自性が見られない</p> <p>交通と買い物を考えると便の良い所と悪い所がはっきりしている。(例えば相模大野と新磯野)</p> <p>相模大野駅、小田急相模原駅周辺は商店街多く、道狭くごちゃごちゃの感じ。超高層ビルによる都市の早期開発が必要(地下駐車場も必要)</p> <p>周辺市町村と比較すると土地が高い</p> <p>街の中心に広大な基地がある(都市、交通路を遮断)</p> <p>橋本駅前の相原高校、相模原駅前の米軍等もったいない気がする</p> <p>駅周辺の密集市街地で再開発が必要と思われる危険地帯がある。商業集積拠点の整備も大切であるが、夜の飲食街も必要悪である</p> <p>小田急相模原駅周辺は都市開発計画で更に都会化されるようだが、津久井3町からは交通の便が悪い。買物、グリーンホール等の駐車場の完備が必要、電車利用で橋本-町田乗り替え等は不便</p> <p>麻溝台・新磯野土地区画整理事業</p> <p>...雑然としているが、区画整理により整理されれば隣接の公園ともマッチしてすばらしい地域になると思う</p>	<p>見えない相模原との境界線で、土地の値段が安くなってしまったり、売れなかったりする</p> <p>道が混んでいて、津久井や相模湖方向に行く通過点という感じがある</p> <p>町役場付近しか栄えていない</p> <p>町面積の狭さ</p> <p>拠点性にかける町。ベットタウンのイメージが強い。</p> <p>まちにランドマークがない</p>	<p>津久井湖以外何があるか知らない</p> <p>何となく「古い」イメージがある。町の随所にちょっとさびれた感じがする</p> <p>何となく生活しにくそう</p> <p>中野は、ロケーションからいって、もう少しキチンとした街づくりがあってもよいように思う</p> <p>山梨県と間違えられる</p>	<p>湖に一等地を取られ傾斜地にひしめき合っている感じがする</p>
<p>【良いところ】</p> <p>地域に根ざした街が見られる</p> <p>【課題】</p> <p>過疎防止として、農用地(農地法、農振法)の網で規制されている土地の利用を考えること</p>			

検討委員会での現況と課題に関する意見のまとめ

意見の整理例	現況と課題のまとめ			
<ul style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 生活環境・都市環境 3 安全・安心 4 交流 5 産業 6 教育・文化 7 健康・福祉 8 参加・協働 9 その他(行財政) 	<p>(3) その他都市基盤</p> <p>水源地での下水道の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模原市は下水道が完備されているが、水源地を持つ津久井3町には下水道が未整備であり、整備が急務である ・津久井では合併処理槽利用者下水道利用者として不公平感がある <p>ごみ対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城山町では、ごみ置き場がきれいであり、相模湖町では一人あたりのごみ排出量は少ないものの、ポリ袋不要の買い物などごみの減量化も重要である ・一方、水源地でのごみの不法投棄が多い <p>情報基盤の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模原町には光ファイバーが整備されているが、城山町、津久井町の情報基盤は進んでいない <p>都市的地域の緑地整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市公園、桜並木、緑道、河川の広場などが整備されているものの、相模原市には自然らしい自然が少ない <p>景観形成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模湖町では随所に花壇などがおかれ、心なごむ。R412、R413沿道の修景対策を実施したい <p>公営住宅の改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模原市内の公営住宅は市民ニーズを満たせていない(不足、狭い)。一方、津久井町では格安で入居が可能である <p>都市ガスの整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模原市内での都市ガス整備の格差がある <p>サイン・案内板の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共案内版がわかりづらい 			
<p>【検討委員会での意見】 良いところ 課題</p>				
<p>相模原市</p> <p>(3) その他都市基盤</p> <p>【良いところ】</p> <p>地方都市として一定の設備が整っている</p> <p>橋本地区は駅を中心に、出張所、幼稚園、小・中・高等学校、病院、商店等、徒歩圏内に生活する上での望む以上のものが整備されている</p> <p>色々な公共施設(文化、スポーツ等)が充実している</p> <p>それぞれ個性をもった施設群を拠点的につくっているのはよいと思う。それぞれが森になっている</p> <p>下水道が完備されている</p> <p>都市公園、木もれびの森、桜並木などの緑が多い</p> <p>緑道、散策道が整備されている</p> <p>市の中心地の区画整理は見事。街路樹の緑も素晴らしい</p> <p>都市ガスは便利である</p> <p>南清掃工場の周辺対策、景観対策も良く、静かな工場だと思った</p> <p>主要ポイントや街中かなりあじさいが目立ち、特徴となっている。(ちょうどシーズンであるせい)</p> <p>ひばり放送がある</p> <p>米軍基地は、交流があり様々な体験ができる</p>	<p>城山町</p> <p>(3) その他都市基盤</p> <p>【良いところ】</p> <p>町の施設が充実している</p> <p>自然も多く、スポーツのできるグラウンドが充実し、各自治会や青少年育成会組織を土台とする町の体制がしっかりしていて高齢者、成人、子供達への環境づくりに力をいれている</p> <p>ごみ置き場がきれい。ごみの収集も徹底されていて衛生的にも住みやすい</p> <p>【課題】</p> <p>R412、R413沿道の修景対策を地域住民と行政が協力して実施したい。修景対策懇談会を先ずつくと、(特に建設関係、自動車関係業者の景観意識の向上が商業振興上も必要か)</p> <p>情報インフラの整備は進んでいるとは言えない</p> <p>【課題】</p> <p>下水道の未整備。水源地として整備急務</p>	<p>津久井町</p> <p>(3) その他都市基盤</p> <p>【良いところ】</p> <p>町の施設などの使用料が安い(無料)</p> <p>町営の住宅が格安で入居可</p> <p>【課題】</p> <p>合併処理槽利用者下水道利用者として不公平感がある</p> <p>ごみ、し尿を各々1町ごとには出来ず、4町共同で行っているという事はやはり地域性・結束力を感じた。分別や回収日も相模原とは違いますので慣れるまで大変かもしれません</p> <p>ごみ処置は合併の大きな課題となっているはずなのに、なぜ有料化をしないのだろうか。これは全国的な課題であり、有料化の流れが普通だと思う</p> <p>光通信網が来っていない。インターネット環境が悪い</p> <p>有線TV</p> <p>相模原市の上大島の施設などは、本来なら津久井町に造るべきであった</p> <p>主要銀行がない</p>	<p>相模湖町</p> <p>(3) その他都市基盤</p> <p>【良いところ】</p> <p>公共機関、施設、道路、交通機関等が小自治体としては整っている</p> <p>1人当りごみ排出量が少ない</p> <p>住民運動で光ファイバーが通った</p> <p>町の随所にフラワーポットなどがおかれ、心なごむ</p> <p>【課題】</p> <p>相模湖町の少子高齢化が進み、子供が少なく、町の活性化がはかれない。まちづくりが消極的である</p> <p>ポイ捨てが多い。水源地の割にゴミの不法投棄、廃屋、廃品。リサイクル、野晒しが目立ち不潔感あり</p> <p>都市銀行がない</p>	



北清掃工場(相模原市)






津久井郡ごみ処理施設



公共下水道整備(相模湖町)

〔検討委員会での意見〕 良いところ 課題			
相模原市	城山町	津久井町	相模湖町
<p>【課題】</p> <p>これ以上の箱物は不要、維持費が無駄では 都市ガスが整備されていない 公営住宅が市民ニーズを満たせない(不足、狭い) 公共サイン(案内)がわかりづらい ごみ減量を更に進めることが重要である。ポリ袋等不 要の買物 南清掃工場 ...施設の古さを感じた。H18年に新しい施設が着工予定 との説明があり心強く思った。 ...改築にあたっては、他施設、周辺ごみ状況、制度面、 総合的に考慮した対応を願いたい ...津久井郡の焼却炉の総合化を図り人員の削減が可能(3 ヶ所での能力要検討)</p>			




検討委員会での現況と課題に関する意見のまとめ

<p>意見の整理例</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 生活環境・都市環境 3 安全・安心 4 交流 5 産業 6 教育・文化 7 健康・福祉 8 参加・協働 9 その他(行財政) 	<p>現況と課題のまとめ</p> <p>防災対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模湖町は大雪、大雨ですぐ陸の孤島になってしまう <p>治水対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水害に気を抜けない <p>消防体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防、救急救助の体制が不安であり、消防連絡網なども含めて新市全体の構造をみなおす <p>公害対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業公害が少ない。 ・騒音道路公害(暴走車、排気ガス、ポイ捨て、渋滞、騒音、振動)がある <p>防犯対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模原市内での犯罪発生が課題である。 ・街灯が少ない場所がある。 <p>救急体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘリポートの設備、山岳遭難時、救急移送病者用等 <p>交通安全対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部を除き歩道が極端に狭い。道路幅の狭いところも多く危険を感じる人が多い 	 <p>溝上大野台雨水幹線(相模原市)</p>  <p>消防署城山分署(城山町)</p>  <p>津久井郡消防本部</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

〔検討委員会での意見〕 良いところ 課題

相模原市	城山町	津久井町	相模湖町
<p>【良いところ】</p> <p>産業公害が少ない</p> <p>【課題】</p> <p>交通・工業・産廃施設により空気が汚れている</p> <p>市内に警察署が2署あるにもかかわらず、犯罪発生が多い</p>	<p>【良いところ】</p> <p>【課題】</p>	<p>【良いところ】</p> <p>救急病院、消防、救急、活用、治安は良い</p> <p>町の安全性の高さ。治安がよい</p> <p>【課題】</p> <p>消防、救急救助の体制が不安だと思うので、合併を契機に対策を考えないといけない</p> <p>消防ネットワークの要なども含めて新市全体の構造をもう少し丁寧にみていくとよい</p> <p>消防を各々1町ごとには出来ず、4町共同で行っているという事はやはり地域性・結束力を感じた。消防に関しての課題は合併後も大きな問題かもしれません</p> <p>水害に気を抜けない</p> <p>ヘリポートの設備、山岳遭難時、救急移送病者用等最終処分場がいっぱいなのは知らなかった。道志川に廃水(処理水)を流しているのも知らなかった。ちょっと怖い。重金属の封入された灰ベレット(よく知らないからだと思うが)も怖い</p> <p>一部を除き歩行スペースが極端に狭い。狭隘道路も多く危険を感じる人が多い</p>	<p>【良いところ】</p> <p>台風等の災害が少ない</p> <p>【課題】</p> <p>大雪、大雨ですぐ陸の孤島になってしまう</p> <p>街灯が少ない、暗い</p> <p>騒音道路公害(暴走車、排気ガス、ポイ捨て、渋滞、騒音、振動)</p>

検討委員会での現況と課題に関する意見のまとめ

<p>意見の整理例</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 生活環境・都市環境 3 安全・安心 4 交流 5 産業 6 教育・文化 7 健康・福祉 8 参加・協働 9 その他(行財政) 	<p>現況と課題のまとめ</p> <p>観光拠点の連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県有数の観光地だが連携がない。駅、高速インターも生かされていない。昔は観光地、今は通過点である <p>自然のレクリエーション拠点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川での釣りやキャンプなど、子供たちが自然と触れ合える。また、自然とふれあえるスポットもあり、自然を活かした体験型の観光開発を今後進められたらよい <p>スポーツ・レクリエーションの推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模原市内には、温水プール、スケートリンク、野球場等の施設が充実している <p>既往観光施設の有効活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津久井湖記念館、尾崎記念館や郷土史資料館などの改築・広報が必要である <p>湖の観光利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城山湖、津久井湖、相模湖が観光資源として活かしきれていない <p>街並みの観光資源への活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R20の小原本陣付近のまちなみ(街道)はもっと保存して観光資源にしたらいい <p>伝統的行事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な祭行事がある(大凧祭、七夕祭、花火大会、もみじ祭り等)が、一部規模の縮小がみられる <p>観光農業・市民農園について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城山町、津久井町には相模原市で不足している市民農園が多く、農産物の直販、菜園オーナーなどもある <p>子どもの遊び場の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模原市には都市公園が多く整備されているが、地域全体で近くに子供を遊ばせるような公園が不足している 	 <p>大凧まつり(相模原市)</p>  <p>道志川(津久井町)</p>  <p>交流センター(相模湖町)</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

〔検討委員会での意見〕 良いところ 課題

相模原市	城山町	津久井町	相模湖町
<p>【良いところ】</p> <p>都市公園が多く整備されている。気持ちが良いレクリエーション施設が充実している</p> <p>スポーツ施設がある公園が充実している</p> <p>大型の施設の完備、温水プール、スケートリンク、音楽用ホール、野球場等</p> <p>市立総合体育館の施設規模は中央体育館として十分。市内施設からの情報発信、中核機能の充実などが大切。レストランも大規模体育館施設にはうってつけ。(自由に十分稼がせて)経営に資する使用料・収入を得てはどうか</p> <p>総合水泳場(さがみはらグリーンプール)は、よく整備された環境の良いプール。多くの市民が活用出来る場にしたい。費用がかかってもこの様な設備は必要</p> <p>相模川であゆ釣場、キャンプ常設</p> <p>グリーントワーは、唯一、相模原市内全域を見られるスポットである。麻溝公園も広大な敷地でとても美しくよい</p> <p>伝統的な祭行事がある(大凧祭、七夕祭、上溝田名祭、花火大会等)</p>	<p>【良いところ】</p> <p>小倉橋でのこだまプール開場、キャンプが近場</p> <p>身近に多くのアウトドアスポットがある</p> <p>...城山湖やカタクリの里、ホテル、清流の里、梅園等</p> <p>...多様なハイキングコース・ウォーキングコース</p> <p>人口に対する市民農園数が多い</p> <p>城山湖</p> <p>...城山湖は津久井山地への玄関口として重要</p> <p>...周遊ハイキングコースでの森林浴</p> <p>...城山湖からの眺望。相模原市内や津久井の町がよく見え、このような地点を強調し視覚的一体化を促す</p> <p>...ダム周辺は人手が入ってなくて良い感じ。自然を活かしてリラクゼーション・ヘルスエリアのような使い方が出来ると良い</p> <p>...湖が誕生したときと変わらない自然の佇まいに心がいやされる。環境保全には充分留意しなければならない</p> <p>津久井湖記念館では、津久井・相模湖のダム建設における歴史を再確認することができ、地域性を相模原市民に少しでも理解していただけたと思う</p> <p>町民文化祭・もみじ祭なども身近な感じで実施</p>	<p>【良いところ】</p> <p>津久井湖公園の整備が進んでいる。期待大</p> <p>相模原市に不足している市民農園が出来易い</p> <p>ふれあいの館は観光客が結構多い</p> <p>観光開発の余地・可能性が十分にある</p> <p>シーズン中の登山客も結構多い</p> <p>観光資源(宮ヶ瀬湖、津久井湖、城山の整備)農産物の直販、菜園オーナー</p> <p>道志川の川辺でキャンプができる。早戸川で溪流釣ができる。野山川、身近に自然がある。子供たちが自然と触れ合える</p> <p>【課題】</p> <p>中途半端な総合グラウンドが複数ある</p> <p>津久井湖畔の観光が寂しい</p> <p>尾崎記念館や郷土史資料館などあるが、何となく入りにくい。積極的に見せようとしていない</p> <p>観光スポットにいくまでの道のりが長い。観光スポットによっては「あれ?」という場所(こっこパークとか)もある</p>	<p>【良いところ】</p> <p>交流センターの催し物が良い</p> <p>相模湖の観光地、船遊び、釣、湖上祭の花火大会</p> <p>...相模湖湖上祭は人気がある花火大会</p> <p>...湖でボートに乗れる</p> <p>アミューズメントパーク、ピクニックランドがある</p> <p>相模湖ファンともいべき、ボランティアや来町リピーターが多い</p> <p>石老山は比較的、登りやすい。登山、ハイキング、散策路などの整備と、ガイド資料が行き届いている</p> <p>伝統行事、イベントが適時、各地にあり楽しめる</p> <p>【課題】</p> <p>子供が遊べる公園が少ない</p> <p>相模湖を観光資源として活かしきれていない</p> <p>相模湖の湖面利用が難しい中途半端な観光地</p> <p>相模湖公園が園内、駐車場とも整備されたのに、思ったほど観光客が見られない</p> <p>相模湖公園の観光客は疎らで、公園入口の食堂は廃業して汚れ放題、隣の建物もガラス窓は汚れ惨めな姿を晒している</p>

〔検討委員会での意見〕 良いところ 課題			
相模原市	城山町	津久井町	相模湖町
<p>【課題】</p> <p>歴史の浅い「まち」なので、落ち着いた風格、風情が足りない</p> <p>まちのづくり、雰囲気に関心が感じられず、外部から訪れたいと思わせる「まち」の魅力が少ない</p> <p>市民一人当りの公園面積は少なく、都市公園が全体的に不足。近くに子供を遊ばせるような公園だけがない</p> <p>都市公園は良く整備されているが、観光資源や奥座敷的地域がない。市街地もやや都市景観に欠ける地域が多い</p> <p>総合水泳場（さがみはらグリーンプール）</p> <p>…経費削減と収入増に更に工夫が必要</p> <p>…こういう施設は「自ら来る人」だけの施設ではなくそうでない人も引き込んで活用していくそんな施策が必要（市民の健康増進）</p> <p>…体力測定等のサービス（回数券サービス等）研究して経費減向上を図る</p> <p>…市民選手権、年齢別記録大会等実施 PR 希望</p> <p>ウェルネスさがみはら</p> <p>…立派な施設を市民が十分活用できる PR が必要</p> <p>…FMさがみの活用。将来的にはさがみTV、案内等の構想で諸設備のPR等期待したい</p>	<p>【課題】</p> <p>広大な津久井3町（藤野町も将来合併は参入されるように）都市計画で自然を活かした体験型の観光開発を今後新市で進められたらよい</p> <p>城山湖</p> <p>…城山湖周遊ハイキングコースには、売店の設備、雨宿りのひさしが欲しい</p> <p>…城山湖の周りの整備と散策路の拡充整備、PRすればもっと良くなる。サインがハイセンス、効果的だとよい</p> <p>…城山湖に行く道サイドの緑が伸びきっているので、手入れが大変。城山湖をレジャー向けに開発しては</p> <p>…城山湖で町民の森散策路にプラス森林浴を兼ねたマレットゴルフ場とレストハウスを造設したらどうか</p> <p>…城山湖の南面の眺望を活かしたい。城山地域の自然保護、レクリエーションの拠点として民間資本を入れて観光開発し、新市観光の中心地とする</p> <p>…城山湖でのスポーツイベント・市民マラソン、駅伝の開催</p> <p>…城山にケーブルリフトがあれば観光地としてメリットが出るのでは。県立津久井湖城山公園から城山へロープウェイを設置し、頂上に「シンボルタワー」をつくるなど観光設備を導入できないか</p> <p>…せっかく花や水で景観づくりをしているのに、観光センターから演歌が流れていたり、ラーメンやおみやげの旗がなびいていたりするのは問題</p> <p>津久井湖記念館</p> <p>…津久井湖記念館は負の歴史も含めてコンパクトによくまとまっているが、全体が古びている。リニューアル・PRすれば都市の地域史資料館として良い</p> <p>…施設としては古いこともあり、中途半端な感じがする。道の駅のイメージで立て直すのが良い</p> <p>…土曜日なのに活気が無い。野外音楽施設や文化ホール等があれば良いと思う</p>	<p>津久井町緑の休暇村センター</p> <p>…相模原市民の多くの方が利用できるようにしていきたい</p> <p>…ここも自然も施設も中途半端な感じ。もう少し広い自然を活用できないか</p> <p>…温泉、カラオケの出来る日帰り保養センター（老人もOK）の拡充整備</p> <p>…温泉設備を早く立ち上げてPRを広く行い集客に努めるべき。R413からの入口に看板が欲しい</p> <p>…温泉掘削中、新市の奥座敷、県民、都民の憩いのスペースとして大切に整備したい、修景対策も。相模湖と宮ヶ瀬は一応まとまっている観光拠点と思う。湖畔に民間商業スペースがあり活気が生まれている</p> <p>一案（新小倉橋エリアに大型の道の駅建設、駐車場完備でテナントを募集し食堂、地場産物の直販、入浴、サウナ、仮眠部屋、観光のバースキャン、コミュニティとして活用、馬券、ポート券売場併設、健全な娯楽場、地元活性）</p> <p>森林浴を主体とした公式マレットゴルフコースの新設</p>	<p>相模湖は日本最初の人造湖だが、観光地としては、中央高速の開通以来通過点になってしまった</p> <p>ピクニックランドがあまりきれいでない</p> <p>お祭りなどの伝統的行事の規模が小さくなっている</p> <p>全国的に名が通り、神奈川県有数の観光地としての施設と遊具類があるが相互の連携がない。ピクニックランドも石老山等の山にもそれぞれ単眼で整備されている感じがある。3町唯一のJR駅、高速インターも生かされていない</p> <p>R20の小原本陣付近のまちなみ（街道）はもっと保存して観光資源にしたらいいと思う</p>

検討委員会での現況と課題に関する意見のまとめ

意見の整理例	現況と課題のまとめ			
<ul style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 生活環境・都市環境 3 安全・安心 4 交流 5 産業 6 教育・文化 7 健康・福祉 8 参加・協働 9 その他(行財政) 	<p>産業の振興について</p> <ul style="list-style-type: none"> 相模原市では工業、商業の特性が豊かな一方、津久井3町では地場産業が弱く、職場が少ない <p>企業誘致について</p> <ul style="list-style-type: none"> 水源地域では各種規制があり、企業立地の基盤が整っていない <p>農業の保全、担い手について</p> <ul style="list-style-type: none"> 相模原市では農地の違法転用、不法投棄など畑地の環境が悪い。相模湖町では、無農薬、有機的農園芸に努めている住民がいる。 <p>林業の保全、担い手について</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然豊かだが、山林の材値の低迷により山林が荒廃している。自然を活かした産業が求められる 		<p>商業の活性化について</p> <ul style="list-style-type: none"> 相模原市では商店街の点在、大型店の出店など商業施設が充実している。城山町では日常の買い物は充足しているものの、津久井町、相模湖町では商店街の活気がなく、特色ある商店づくりが必要となっている 	
<p>〔検討委員会での意見〕 良いところ 課題</p>				
<p>相模原市</p> <p>【良いところ】</p> <p>農工商とりあえずひととおりそろっている。商工業が盛んで雇用の場が多い。しかも、これからの成長が期待できる。工業、商業の特性が豊か</p> <p>2次、3次産業が多く就職先が多い</p> <p>現産業だけではなく、新たな産業の創出への取組みがなされている</p> <p>商店街が点在していて買い物に困らない。商業施設が充実している。各種大型店があり便利</p> <p>買い物が高くでほぼ全て済む</p> <p>R16沿道は全国でも有数の物価の安さは大切な都市機能の一つ</p> <p>【課題】</p> <p>農地の違法転用、不法投棄など畑地の環境が悪い</p> <p>相模原市自体が大きいので商圏が大きいまとが絞りにくい</p> <p>殆どが大型ショッピングセンター化し、従来からの商店街に活気が無い、もしくは消滅している</p>	<p>城山町</p> <p>【良いところ】</p> <p>工場等が多い感じ。雇用の場が多い</p> <p>日常の買い物は町内で済ますことができる。ちょっと足を伸ばさず感覚でデパート、専門店にも行ける</p> <p>R413沿いの大型店</p> <p>【課題】</p> <p>地場産業が弱い。職場が少ない</p> <p>大きな本屋、画材屋が無いので橋本駅前まで行く</p> <p>町内で用事を済ます事が限られてしまう。パワーを感じない</p> <p>【課題】</p> <p>自然が豊かだが山林の材値の低迷により山が荒れている。将来問題</p> <p>山林の荒廃(水源資質の保全)山林所有者は先祖代々の山林を相続しないと言っている</p>	<p>津久井町</p> <p>【良いところ】</p> <p>地場産業(組み紐)がある</p> <p>日常の買い物はスーパーが24時間オープンで便利</p> <p>【課題】</p> <p>荒廃山林・未利用農地が多い。景観を損ねる</p> <p>津久井での働く場の確保は難しい。都心部に出るためには駅周辺への駐車場確保が必要</p> <p>地場産業が弱い。職場が少ない</p> <p>...かつては、有数の生糸生産地であったが、今や壊滅的な状態である</p> <p>大企業がない。二次産業の欠落</p> <p>企業立地の基盤が整っていないうえ、排水規制が厳しく新規立地を妨げている</p> <p>誘致した産業の景気も悪く閉鎖した工場もある</p> <p>商店街が中型、大型スーパーの影響もあって閑散としている。高級品の買い物は、立川、町田、八王子へ出向く</p> <p>個人商店の元気がないのが寂しい。中野商店街ではシャッターの閉まっている店が多く、活気が無く、閑散としている。大型店がバイパスにあるが特色ある商店作りが必要である</p> <p>自然を活かした産業があるとよい</p>	<p>相模湖町</p> <p>【良いところ】</p> <p>無農薬、有機的農園芸に努めている住民がいる</p> <p>観光・地場産業に発展可能性を感じる</p> <p>【課題】</p> <p>荒れた林野が多い</p> <p>町の企業と人口の少なさは将来の自立性に欠ける</p> <p>中心となる産業が無い。地場産業が弱い。職場が少ない</p> <p>水源地域であるため、各種規制があり産業らしい産業が無い</p> <p>日用品を売る店が遠く不便。町中心部に大型店(スーパー)が無い</p> <p>町中心部にガソリンスタンドが無い</p> <p>駅前商店街が充実していない</p> <p>駅周辺商店街は毎年店舗が減っていく。もっと工夫し個人商店、商店街としての個性を出していく必要がある。地域住民ももっと個人商店に目を向けないといけない。相模湖公園の商店街は高度成長期のレトロな雰囲気を出していかないと受け継いでいけない</p>	



テイクパ 伊田名工業団地(相模原市)



工場集積地(城山町)







ふれあい農園(津久井町)



林業担い手(相模湖町)


検討委員会での現況と課題に関する意見のまとめ

<p>意見の整理例</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 生活環境・都市環境 3 安全・安心 4 交流 5 産業 6 教育・文化 7 健康・福祉 8 参加・協働 9 その他(行財政) 	<p>現況と課題のまとめ</p>	<p>学校施設の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模原市に小学校～大学まで学校が数多い。相模湖町からは高校通学が不便である ・城山町での学校施設の老朽化や津久井町での小・中学校の選択の幅が狭い。 <p>学校教育の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模原市では、学校評議会制度が導入されているものの、認知度が低い ・英語教育の早期教育希望、国際人の養成 <p>生涯学習の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城山町主催の歴史講座などの内容は、身近な話題で親しみやすい 	<p>文化施設の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模原市にはグリーンホール、博物館、図書館などの文化施設が充実している。相模湖町では交流センターで身近に音楽や映画等芸術に触れることができる <p>地域内でのこどもの教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事への地域、家庭の参加が活発に行われている。子供たちが伸び伸びとしていてすねていない <p>文化財の保護について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の鎮守としての川尻八幡の存在がよい <p>学校給食の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城山町では中学校給食がある一方、相模原市にはない。完全学校給食制度は子を持つ親たちにはありがたい 	 <p>博物館（相模原市）</p>  <p>学校給食センター（城山町）</p>  <p>津久井城遺跡調査（津久井町）</p>  <p>伝統的祭り（相模湖町）</p>
	<p>【検討委員会での意見】 良いところ 課題</p>			

相模原市	城山町	津久井町	相模湖町
<p>【良いところ】</p> <p>小学校～大学まで学校数が多く通学が便利。小中学校の規模が適正で、学区が広がりすぎない</p> <p>学校評議員制度の導入</p> <p>大学が多数あり今後の市のあり方として「文教」を重点にする事がベストではないか</p> <p>グリーンホール、博物館などに代表される文化施設が多く恵まれている</p> <p>図書館のハードソフト（開架式、相談員等の対応）共に素晴らしい</p> <p>相模原市立博物館</p> <p>...施設の素晴らしさ(さがみはらの歴史に触れられる、コンセプトの明確さ)</p> <p>...内部の展示も分かりやすく、親しみが持てる。再度来たくなる。津久井その他、外部へのPRを盛んにしたい。一帯を文化ゾーンとして更に整備したい</p> <p>【課題】</p> <p>総合学習にしても学校評議員制度にしても、認知度が足りない。もっとオープンにして民間から人を募る等、民の意見を取り入れる更なる姿勢が必要</p> <p>中学校がお弁当</p> <p>図書館への力点がやや弱い</p>	<p>【良いところ】</p> <p>中学校給食がある。子育て支援活動や小学校中学校を通しての完全学校給食制度も子を持つ親たちにはありがたい。設備の整った給食センターがある</p> <p>学校行事への地域、家庭の参加が活発に行われている</p> <p>小さいながら身近な公民館図書室がある（但し、蔵書数には不満あり）</p> <p>八幡神社のお祭りや各自治単位での盆踊り、育成会イベントがとても良いイメージがある</p> <p>町主催の歴史講座などの内容は、身近な話題で親しみやすい</p> <p>町の鎮守としての川尻八幡の存在</p> <p>【課題】</p> <p>学校施設や校舎等が古く備品も粗末</p> <p>小学校でも高学年に音楽美術等専門の教職員が増やせるとよい</p> <p>学校設備、施設に加えて青少年が集える場所がない。周辺には大学も増えているので、学び、集い、ふれあえる大きな図書館のような施設があったらよい。城山町の世帯も高齢化し若者が少なくなりつつあるので、城山町に是非あると良い</p> <p>文化施設が少ない。大きなホールがない</p>	<p>【良いところ】</p> <p>地域毎に小中学校が配置されている</p> <p>高校、大学へ自宅からの通学可能</p> <p>子供たちが伸び伸びとしていてすねていない。(昔のガキ大将のイメージ)</p> <p>教育委員会の町民大学講座開講の利用、海外姉妹都市との交流</p> <p>地域伝統文化が根付いている。歴史・伝統があり、活かされている</p> <p>公共、文化施設が整っている</p> <p>【課題】</p> <p>教育文化施設が少ない</p> <p>小学校、中学校の選択の幅が狭い(新市立の中学、高校一貫全寮制での人材養成を希望)</p> <p>新市立の幼稚園(保育園)、小学校で英語教育(アメリカンスクール方式)外国語の早期教育希望、国際人の養成</p> <p>文化、教育面のおくれ</p> <p>良質な音楽や演劇、芸術など町内で接する機会はない</p>	<p>【良いところ】</p> <p>子供たちが伸び伸びとしていてすねていない。(昔のガキ大将のイメージ)</p> <p>交流センターで身近に音楽や映画等芸術に触れることができる</p> <p>町内に彫刻が多くある</p> <p>【課題】</p> <p>高校への通学が不便</p>

〔検討委員会での意見〕 良いところ 課題			
相模原市	城山町	津久井町	相模湖町
<p>施設はあるが利用頻度が少ない</p> <p>相模原市立博物館</p> <p>...現相模原市だけの説明にとどまっているものが多く 合併したらどうするのか心配</p> <p>...赤字収支で大変と思うがこの様な教養施設は必要。 特別事業や市民学生以外の見学者は安い入館料を とって、赤字減らしをしてもいいのではないか</p> <p>...財政が予算の見直しで大変という説明が多かった が、職員数は多いように感じた</p> <p>...特別展示室をつかわない時には多くの収蔵品がある ということなのでテーマを決めて展示したらどうか</p> <p>...用途別に説明を子供にもわかりやすくする必要を考 えてみたら</p>	<p>教養講座などの募集に際して、なかなか受講者が集ま らない</p> <p>公民館について趣味をする為の施設があまり無い(陶 芸釜、電動ロクロなど)</p>		




検討委員会での現況と課題に関する意見のまとめ

<p>意見の整理例</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 生活環境・都市環境 3 安全・安心 4 交流 5 産業 6 教育・文化 7 健康・福祉 8 参加・協働 9 その他(行財政) 	<p>現況と課題のまとめ</p> <p>少子高齢化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津久井3町の少子高齢化が進んでいる <p>医療体制の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模原市では病院(大学病院、救急病院)が充実し、市民健診が制度化しているものの、専門医療施設、休日診断、子どもに対する医療が不足している ・津久井3町の医療機関が少なく、津久井町内にヘリポートを設け、相模原の大病院への搬送出来ないか <p>児童福祉の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模原市では保育所が少ない ・城山町では、社会福祉協議会やボランティアによる様々なボランティア活動が活発に行われ、小中学校生徒の体験学習も多い <p>高齢者福祉の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のための福祉施設が不足している。特に、津久井3町の少子高齢化が問題である ・高齢化社会に向けて、有料老人ホームを低廉で、希望者を収容可能な設備の完備が必要である ・相模原市の市民生きがい農園、あじさい大学等が、抽選のため高齢者の希望を満たせない <p>障害者福祉の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害を持つ児童への支援が求められる 	 <p>障害者支援センター(相模原市) ウェルネスさがみはら(相模原市)</p> <p>保健福祉センター(城山町)</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【検討委員会での意見】 良いところ 課題

相模原市	城山町	津久井町	相模湖町
<p>【良いところ】</p> <p>病院(大学病院、救急病院)が充実している。 市民健診が制度化している 市民病院が無く、結果特別会計を使わないで済む 福祉施設が充実している。子育てについて福祉的なサポートがある 在宅福祉の拠点が公民館区毎にある 保健所が市内にある</p> <p>【課題】</p> <p>大きな病院等が地域に貢献していない 耳鼻科・眼科等の専門医療施設が少ない 休日診療を行っているところが少ない 子供に対する医療が充実してない 障害を持つ児童への支援が足りないように思う 高齢者に対する福祉が見えない。高齢者のための福祉施設がまだ不足している 公立医療老人ホームが少ない 保育所、老人施設等が少ない。(児童保育所の数及び規模が小さい)。学童保育の時間が短い 市民生きがい農園、あじさい大学等が、高齢者ニーズを満たせない(抽選)</p>	<p>【良いところ】</p> <p>町民センターや保健福祉センターでの催し物も充実している。一般使用もできるので、様々な団体や町民との交流の場となっている 社会福祉協議会やボランティアによる様々なボランティア活動が活発に行われ、小中学校生徒の体験学習も多い。ライフホーム城山見学など、子供達がお年よりと接する事も多く大切な施設の一つです</p> <p>【課題】</p> <p>少子高齢化 医療機関が少ない。人口に対する医療施設率が低い 大きな総合病院や専門医等、医療施設が少ない</p>	<p>【良いところ】</p> <p>赤十字病院がある 福祉政策良好</p> <p>【課題】</p> <p>人口が減少、過疎化が進んでいる 子供に対する医療費補助が少ない 高齢化社会に向けて、有料老人ホームを低廉で、希望者を収容可能な設備の完備 鳥屋、青根、青野原周辺にヘリポートを設け、相模原の大病院への搬送出来ないか</p>	<p>【良いところ】</p> <p></p> <p>【課題】</p> <p>少子高齢化 老人ホームがない 医療設備が整っていない、特に夜間</p>

検討委員会での現況と課題に関する意見のまとめ

<p>意見の整理例</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 生活環境・都市環境 3 安全・安心 4 交流 5 産業 6 教育・文化 7 健康・福祉 8 参加・協働 9 その他(行財政) 	<p>現況と課題のまとめ</p> <p>地域コミュニティの形成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模原市は、東京への通勤客が多く地元意識が薄い。一方、津久井3町は、住民同志の交流が盛んである。ただし、新旧住民間の交流は必ずしもうまくいってない場合もある <p>自治会の運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会が活発である。これは子供の発育に大変大きい。一方、自治会の活動は、昔からの慣例的な活動が多く、末端の民意が活かされた活動が出来ていない部分が見受けられる <p>住民と行政の関係について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津久井3町では行政と住民が近在している 	  <p>木もれびの森美化運動(相模原市) 相模川クリーン作戦(相模原市)</p>  <p>住民参加(相模湖町)</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【検討委員会での意見】 良いところ 課題

相模原市	城山町	津久井町	相模湖町
<p>【良いところ】</p> <p>市民参加に重点を置いている 特別近所との付き合いをしなくても生活が成り立つ 自治会の数の充実 市内に多様な人材が居住している。これらの人の力が取り入れられたら素晴らしい</p> <p>【課題】</p> <p>東京への通勤客が多く地元意識が薄い。単なるベッドタウンで市民の指向は東京都に向いていて地元に向いていない 京浜地区のベッドタウン的な人口の急激な増加によるまちなので、人の温かみを感じない 市民の地域に対する執着心が少ない。結果的にまちづくりへの市民参画が果たされていない 地域の関係が希薄化している 自治会の地主さん達中心になっているところがある 自治会の活動は、昔からの慣例的な活動が多く、末端の民意が活かされた活動が出来ていない部分が見受けられる。時代と住民のニーズに必ずしも合致していない</p>	<p>【良いところ】</p> <p>規模が小さいこともあり住民同志の交流が盛んである。町が小さいので、何となく皆「同じ住民」の意識 自治会が活発である。これは子供の発育に大変大きい 住民一人ひとりに目が行き届きサービスは勿論の事、ふれあいの暖かさを感じる</p> <p>【課題】</p> <p>昔からの住民と新住民の融合は必ずしもうまくいっていない 新住民は、愛「町」意識などはあまりない</p>	<p>【良いところ】</p> <p>地域住民同士の付き合いが密接に感じる 地域のコミュニティ活動が盛ん 郷土意識が強い</p> <p>【課題】</p> <p>環境保全育成についての住民意識が低い よい町を作ろうなどということを考える住民は少ない</p>	<p>【良いところ】</p> <p>居住者はみな人情に厚い 地域住民同士の付き合いが密接に感じる 一般住民、近隣社会の雰囲気良く排他的ではなく、とけ込みやすい(転入時の印象) 自治会の組織、活動が程よく行われている 住民同士の交流が温かみのある町である</p> <p>【課題】</p> <p>町、町民全体としての連帯感や郷土意識の希薄さ(昭和、明治の大合併以前の地域意識が濃厚) せつかくの地域まちづくり資源が埋もれ、私物にとどまっている</p>
	<p>【良いところ】</p> <p>人情味が豊か。あたたかい人柄 行政と住民が近在している</p>		

検討委員会での現況と課題に関する意見のまとめ

意見の整理例	<ul style="list-style-type: none"> 1 自然環境 2 生活環境・都市環境 3 安全・安心 4 交流 5 産業 6 教育・文化 7 健康・福祉 8 参加・協働 9 その他(行財政) 	現況と課題のまとめ
	<p>行政サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城山町や相模湖町など規模が小さいこともあり行政サービスがきめ細かい <p>施策の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町としての施策に若々しさが感じられない。計画事業の実施が遅れている <p>財政基盤について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模原市は財政力に優れている一方、津久井3町の財政基盤は弱い <p>行政職員について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模原市の市役所に専門家の職員がいる <p>役所・役場の位置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役所、役場への距離が遠い 	

〔検討委員会での意見〕 良いところ 課題

相模原市	城山町	津久井町	相模湖町
<p>【良いところ】</p> <p>財政力指数が高い。公共施設が充実している 市役所に専門家スタッフがいる 都市財政の力量にすぐれている。(行政の先進性)</p> <p>【課題】</p> <p>市役所が遠い 施設使用に関し、市民のニーズに応えられるような使用環境を充実させるべき(パリューフォーマネー、宝の持ち腐れになりかねない)</p>	<p>【良いところ】</p> <p>規模が小さいこともあり行政サービスがきめ細かい 自治会等への助成金がある 役場・公民館・保健福祉センターなどに住民は親近感をもっている 小さい町だからか、すぐ声が届く(危ない道路には信号機を付けてもらえたり、危ない歩道の段差を取ってもらえたり、犬のフン規制をしてもらえたり出前役場で目の前で質問に答えてもらったり) 財政力が豊か(運営に無理がない) 人口、面積等バランスがいい</p> <p>【課題】</p> <p>相模原市と生活圏は一体になっているかと思うけれども行政の連携がとれていない 財政基盤が弱い 何となく旧態然としたやり方のように思える 改革・変革への意識はやや乏しい印象 町としての施策に若々しさが感じられない 地元業者優先はよいが、多少馴れ合い的な雰囲気を感じる</p>	<p>【良いところ】</p> <p>金がない、金がないばかりで工夫する姿勢があまり見られないのが残念</p> <p>【課題】</p> <p>財政基盤が弱い。財政力が弱含み(面積需要が大きいためか)</p>	<p>【良いところ】</p> <p>町役場職場(窓口等)の接客態度がアットホーム、対応も適切、率直で好ましい 各種住民負担が平均並で重圧感がない</p> <p>【課題】</p> <p>財政基盤が弱い 役場が遠方にある 計画事業の実施が財政的なことなのか遅れている</p>

総合計画で示されている現況と課題のまとめ

総合計画で示されている視点

分野(例)	現況と課題のまとめ		
1 自然環境	自然の保全と活用について 水源地の保全と活用について 森林の保全について	河川環境の改善について 湖の活用について	里山・谷戸の環境について 環境問題への取組について
2 生活環境・ 都市環境	交通渋滞の解消について 道路・高速道路等の整備について 鉄道の延伸整備について 地域の拠点の形成について 計画的な土地利用について 水源地での上水道の整備について 水源地での下水道の整備について ごみ対策について	バスのネットワークについて 道路附帯施設の改善について 駅前密集市街地の改善について 特色ある地域づくりについて 情報基盤の整備について 都市的地域の緑地整備について	路上駐車解消について 自転車の活用について 適正な宅地開発について 米軍基地について 景観形成について 公営住宅の改善について
3 安全・安心	防災対策について 治水対策について 消防体制について	公害対策について 防犯対策について 救急体制について	交通安全対策について 安全な消費生活について
4 交流	観光拠点の連携について 自然のレクリエーション拠点について スポーツ・レクリエーションの推進について	既往観光施設の有効活用について 観光農業・市民農園について	子どもの遊び場の確保について 国際交流の推進について
5 産業	産業の振興について 企業誘致について	農業の保全、担い手について 林業の保全、担い手について	商業の活性化について 高齢者・障害者の雇用促進について
6 教育・文化	学校施設の充実について 学校教育の充実について 生涯学習の推進について	文化施設の活用について 幼児教育の充実について 地域内でのこどもの教育について	文化財の保護について 学校給食の実施について
7 健康・福祉	医療体制の充実について 児童福祉の充実について	高齢者福祉の充実について 障害者福祉の充実について	地域福祉の充実について 低所得者福祉の充実について
8 参加・協働	地域コミュニティの形成について 自治会の運営について	男女共同参画社会の形成について	住民と行政の関係について
9 その他 (行財政)	行政サービスの充実について 広報・広聴活動の推進について	情報公開の推進について 近隣市町村との連携について	財政基盤について

影文字は、検討委員会が出ていないもの

総合計画で示されている現況と課題

現況と課題のまとめ

自然の保全と活用について
 水源地の保全と活用について
 森林の保全について
 河川環境の改善について

湖の活用について
 里山・谷戸の環境について
 環境問題への取組について

〔総合計画で示されている現況と課題〕

相模原市 21 世紀総合計画	城山町新総合計画	第二次新津久井町総合計画	第 4 次相模湖町総合計画
<p>総合的、計画的な土地利用を進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川沿いの斜面緑地、木もれびの森などの緑地、一団の良好な農地、相模川などの水辺空間等の保全と創造が重要な課題となっている。 <p>水やみどりの保全と創造に努めます</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民共通の貴重な財産である相模川の自然環境を保全し、環境をいかした魅力づくり、水質浄化、生態系に配慮したうるおいある水辺空間づくりを進める必要がある。 <p>質の高い基盤の整備を目指します</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川の整備・改修にあたっては良好な生態系の確保や景観などにも配慮した多自然型の川づくりを進めていく必要がある。 <p>人と自然にやさしい地域社会を作ります</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民一人一人が身近なところから環境問題に主体的に取組、市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を自覚し、行動することが求められている。 	<p>水と緑の公園的な空間の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 丘陵、相模川、津久井湖、城山湖などの保全を図る一方、水と緑のまちづくりを進めることが課題となっている。 <p>求められる森林の多面的利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林に関わるイベント、学習活動、森林整備への参加などを通じ、都市住民との森林のふれあいを深めると同時に、森林への認識を高めていくことが必要となっている。 <p>求められる親水空間づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 相模川は観光・レクリエーション空間としての活用が期待され、その他河川についても水と緑を中心とした快適な空間の創出が課題となっている。 <p>求められる自然環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> 津久井湖、城山湖、相模川、城山、小倉山などの自然環境を保全しながら、自然を学び、ふれあう場としての活用を図っていくことが求められる。 <p>減少しつつある身近な樹林地</p> <ul style="list-style-type: none"> 平地林の減少が顕著であり、身近な自然環境とふるさとの風景を提供する雑木林の保全が課題となっている。 <p>必要となる共通認識（環境問題）</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境の保全及び創造に関する取組を、町民、事業者、行政が一体となって、いかに進めるかが課題となる。 <p>高まる環境問題への関心</p> <ul style="list-style-type: none"> 大人から子どもまで環境学習を進めるための施策が重要となる。 	<p>河川の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活のなかで河川に親しむ機会を創出していく河川環境の整備が課題となっている。 <p>美しい景観の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き自然を保全し、県立津久井湖城山公園や宮ヶ瀬湖周辺で予定されている整備について、町が有する美しい自然景観と調和が保たれるよう計画していくことが求められる。 	<p>自然環境の保全と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然を将来にわたって確保し、緑にあふれたまちづくりを進めるため、水源林や県立陣馬相模湖自然公園の保全に努めていく必要がある。 <p>自然とのふれあいニーズに応じた森林整備や里山の活用、都市住民とのふれあいの場づくりを推進していく必要がある。</p> <p>環境に配慮したまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民、事業者が自ら、自分の生活や活動を環境の負荷という視点から見直し、環境に配慮した活動や行動を積極的に実践していく必要がある。

総合計画で示されている現況と課題

現況と課題のまとめ			
<p>(1) 交通</p> <p>交通渋滞の解消について 道路・高速道路等の整備について 鉄道の延伸整備について バスのネットワークについて 道路附帯施設の改善について 路上駐車等の解消について 自転車の活用について</p>	<p>(2) 土地利用</p> <p>地域の拠点の形成について 計画的な土地利用について 駅前密集市街地の改善について 特色ある地域づくりについて 適正な宅地開発について 米軍基地について</p>	<p>(3) その他都市基盤</p> <p>水源地での上水道の整備について 水源地での下水道の整備について ごみ対策について 情報基盤の整備について 都市的地域の緑地整備について 景観形成について 公営住宅の改善について</p>	
〔総合計画で示されている現況と課題〕			
相模原市 21 世紀総合計画	城山町新総合計画	第二次新津久井町総合計画	第 4 次相模湖町総合計画
<p>(1) 交通</p> <p>広域交流都市を目指します</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市活動を支える交通ネットワークの充実など、交通利便性の向上に努める必要がある。 都市活動を支える鉄道、バス、道路等の交通ネットワークの充実など、交通利便性の向上に努める必要がある。質の高い都市基盤の整備を進めます 日常生活圏の拡大や産業経済活動を支える広域幹線道路の整備が遅れており、一部の幹線道路で渋滞が発生している。 さがみ縦貫道路の I.C.の建設により市内の交通需要の変化が見込まれる。 住宅地の違法駐車等の解消に向け、総合的な自動車駐車対策を進める必要がある。 駅周辺における放置自転車に対し、民間活力による自転車駐輪場の整備、啓発活動を進めていく必要がある。利便性の高い公共交通網の確立を目指します バス交通は、混雑に伴う定時制の低下、路線・本数不足から、市民のバス離れが進んでいる。 鉄道は利用者が増加する中、輸送力が確保されていない。 市が広域交流拠点としてさらに発展するためには、高速輸送時代に対応した広域交通のネットワーク確立が必要である。 	<p>(1) 交通</p> <p>幹線道路と市街地整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街地から通過交通をできる限り排除した安全で魅力ある市街地の形成を目指している。 増え続ける交通量への対応 国道 413 号と主要地方道が広域幹線道路として大きな役割を果たしており、交通量の増加がみられる。 期待される新たな幹線道路 道路網は、一部地域の交通渋滞は日常的となっており、円滑な道路ネットワークの形成は課題となっている。 さがみ縦貫道路の整備を先取りした道路ネットワークの形成もこれからの課題となる。 生活道路としての町道整備 町道は幹線道路の渋滞により、生活道路への通過車両が増加し、通学児童などの安全確保が問題となっている路線がある。 バス路線と鉄道との連携強化 バス路線の維持や利便性向上に向けた働きかけとともに、コミュニティバスの研究が必要になる。 	<p>(1) 交通</p> <p>幹線道路の体系的整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部地域には、歩道が未整備、カーブがきつい道路等、危険な箇所がある。 さがみ縦貫道路、および津久井広域道路の早期整備が求められている。 町道の整備 町道の整備自体が進まない状況にあり、用地取得基準の見直しを行い、整備の優先順位について検討するなど、計画的な整備を推進していくことが求められる。 老朽橋や狭隘橋も多く、安全で円滑な通行を確保するために、橋の整備が必要となっている。 公共交通の充実 町内唯一の公共交通であるバスは、路線によっては、利用者が減少しており、今後、廃止される可能性もある。 道路の慢性的な交通渋滞を引き起こしており、解消する方策が求められている。 	<p>(1) 交通</p> <p>広域交流と住民生活を支える道路ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道 20 号・412 号は駅前交差点において慢性的な交通渋滞を引き起こしている。 津久井広域道路は、津久井地域の活性化のため、その波及効果を生かしていくことが必要となっている。 市街地の軸となる都市計画道路は、市街地の拡大に対応し、新たな路線設定が必要となっている。 生活道路としての町道は、地勢的条件や財政的条件から改良が遅れている。 利用しやすい公共交通の充実 駅が北部に位置しているため、南部から相模湖駅へのアクセス向上が課題となっている。 駅前広場は整備されたものの都市基盤は未整備であり、魅力ある拠点づくりが課題となっている。

〔総合計画で示されている現況と課題〕			
相模原市 21 世紀総合計画	城山町新総合計画	第二次新津久井町総合計画	第 4 次相模湖町総合計画
<p>(2) 土地利用</p> <p>広域交流都市を目指します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点都市として、新たな価値や文化を創造し、発信する都市力の創出が求められている。 ・都市の自立を高めるために、各拠点の特性に応じた都市機能の集積と適切な機能連携等により、魅力と活力あるまちづくりを進める必要がある。 <p>総合的、計画的な土地利用を進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた資源である土地の適正な利用を図ることが求められている。 ・工業地においては住工混在が進行しており、生産環境の低下が問題となっている。 ・橋本駅周辺、相模原駅周辺、相模大野駅周辺などの中心市街地は、より広域的な拠点とするため商業、業務、文化等の都市機能のさらなる集積、市街地再開発事業の促進に努める必要がある。 <p>美しい街並みと良好な居住環境を創造します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な自然や歴史を守り、後世に伝えとともに、地域の特性を生かし周辺環境と調和した美しいまちなみづくりを進める必要がある。 ・居住水準の向上に向けた取組、地区計画、建築協定等を活用したまちづくりを推進する必要がある。 ・多様なニーズに対応した良質な住宅の供給など、良好な住環境創造に向けた施策を進める必要がある。 ・多様な機能をもつ公園や緑地等、うるおいやすらぎのある都市空間の確保が求められている。 <p>基地全面返還の実現を目指します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民優先の跡地利用の実現を目指し、基地の全面返還に向けた市民総ぐるみの取組が必要となっている。 	<p>(2) 土地利用</p> <p>開発への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地内における宅地の集積が高まり、市街地内農地や住工混在への対応、商業地の形成など良好な市街地形成へ向けた施策展開が課題となっている。 ・津久井広域道路やさがみ縦貫道路の建設は周辺の土地利用に大きな影響を及ぼすものと考えられ、長期的な観点からの検討が必要である。 <p>自然的土地利用と保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地は、市街地の拡大や周辺地域の開発などにより転用が進んでおり、計画的な対応が求められている。 <p>進みつつある市街地整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地の過密化に伴う住工混在の解消や市街地内農地の都市的土地利用への転換、商業用地の高度利用が課題となっている。 <p>変化する需要と計画的な宅地供給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅需要は変化を続けると思われる、計画的な市街地開発による宅地の供給が課題となっている。 	<p>(2) 土地利用</p> <p>計画的な土地利用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川・湖が 4 %、森林が 83%を占め、豊かな自然と調和した土地利用が求められている。 ・都市的土地利用の微増が見込まれ、計画的な市街地の形成が求められている。 <p>市街地の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津久井広域道路の整備により市街化が進むことが予想されるため、無秩序な市街化を抑制し、計画的な市街地を形成することが求められる。 	<p>(2) 土地利用</p> <p>計画的な土地利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林野率が高く山がちの地形となっており、効率の良い合理的な土地利用が課題となっている。 <p>良好な市街地の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既成市街地では、家屋の密集度が高いことから防災上の問題が多く、都市基盤が未整備なことから商業機能も停滞している。 ・住宅需要は、南部でさかんであり、秩序ある良好な市街地整備が必要となっている。 <p>快適な居住環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間の宅地開発は、地域によってはスプロール化を呈しているところもあり、総合的な住宅施策の展開を図る必要がある。

〔総合計画で示されている現況と課題〕			
相模原市 21 世紀総合計画	城山町新総合計画	第二次新津久井町総合計画	第 4 次相模湖町総合計画
<p>(3) その他都市基盤</p> <p>質の高い都市基盤の整備を進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道は、合流式公共下水道の分流化、市街化調整区域における公共下水道の整備、下水道管理の充実、河川流水の減少への対応など新たな課題への取組が求められている。 <p>輝き魅力あるまちづくりを進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市としての新たな可能性の創出に努め、情報発信力を高める必要がある。 <p>高度情報化への対応を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民生活の利便性、快適性を向上させるため情報基盤の整備を促進するなど、情報の受発信や交流が容易にできる豊かなコミュニケーション社会の構築が求められている。 <p>水やみどりの保全と創造に努めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な緑地の恒久的な保全、街路樹整備、公共施設の緑化など市民総ぐるみによる緑化の推進、市民・事業者・行政が協働し、緑豊かなまちづくりを進める必要がある。 	<p>(3) その他都市基盤</p> <p>必要な総合的水利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水を進めるとともに、森林のもつ水源涵養機能を保全しつつ、その有効利用に努めなければならない。 <p>下水道事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街化の急速な進展による都市排水の問題、さらには相模川の上流に位置し、水質汚濁を少なくする必要がある。 <p>必要な系統的な雨水対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宅地化が進んだことによる雨水流出量の増加に対応した系統的な雨水対策が必要となっている。 <p>増え続けるごみ収集量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみ処理施設の整備や資源化を高めるための分別収集の徹底が課題となっている。 ・ごみの発生抑制や再利用・資源化をより一層進め、ごみの排出抑制を図ることが課題となっている。 <p>必要な町民の協力(ごみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな住宅立地に伴い集積所の適正配置を検討していく必要がある。 <p>進めたい環境美化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川や道路など公共の場所への空き缶・空きビン・建築廃材などの不法投棄が目立ち、環境美化の面から好ましくない状況が続いている。 <p>具体化しつつある高度情報システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な分野における、総合的な情報処理、収集・提供システムの構築について検討し、情報通信メディアの活用を進めていくことが課題となる。 <p>高度情報化への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度情報化を幅広く展開するために、多様な情報通信基盤の整備を進め、地域間格差のない快適な生活が実現される必要がある。 <p>保全すべき緑地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地内の緑は、生け垣や樹木・樹林の保全など、緑のネットワークづくりが課題となっている。 <p>公的住宅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町営住宅は住宅再生マスタープランを基本に整備の検討を進める。 	<p>(3) その他都市基盤</p> <p>上水道の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部井戸を利用している地域もあり、給水サービス向上のために、水源に配慮した県営水道化を促進する必要がある。 <p>下水道の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道整備は、用途地域から順次整備を行っており、継続的に整備していく必要がある。 <p>環境衛生の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境美化活動、ごみの減量化の実現や、し尿処理施設の老朽化、工場・事業所から発生する騒音、悪臭、自動車排気ガス、小型焼却炉から発生する化学物質に対する適切な対応が求められている。 <p>高度情報化社会への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の生活向上と安全を維持しつつ、産業の発展や町民サービスの向上が可能となる情報通信サービスの整備が必要となっている。 ・町民が I T 革命の恩恵を享受できるよう、情報化を的確に推進する必要がある。 <p>公園・緑地の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地周辺の緑や河川空間は豊富な一方、市街地内には緑が少ないことから、身近な緑の保全やオープンスペースの有効活用を図っていく必要がある。 <p>美しい景観の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路の沿道には、様々な看板や広告物が建ち並び、景観を損ねており、既存環境と調和した美しいまちなみの誘導が求められる。 <p>住宅の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町営住宅の老朽化が進み耐用年数も過ぎており、建て替えが必要となっている。 	<p>(3) その他都市基盤</p> <p>快適環境を支える上下水道の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道は、快適な生活環境の維持と、水源地としての水質浄化に欠くことのできない施設であり、水洗化の普及を図っていくことが課題となっている。 <p>廃棄物の総合処理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ排出量を抑制し、減量化・再資源化を推進していく必要がある。 ・環境教育の充実等により、住民意識の高揚を図り、住民、事業者、行政が協力したリサイクル型社会を構築していく必要がある。 ・ごみの投げ捨てへの対策強化が必要となっている。 ・浄化槽に対する管理を強める一方で、下水道の早期供用が課題となっている。 <p>高度な情報通信ネットワークの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民生活に密着する情報サービスの拡大、行政における情報ネットワークの整備が課題となっている。 ・高度情報化社会の中で、モラルやルールづくりが課題となっている。 <p>みどり豊かなまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地に公園整備を望む声は高く、緑化の推進により緑豊かなまちの景観づくりに努めていく必要がある。 <p>特色を高めるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人や自然にやさしいまちづくりや魅力ある景観形成を推進し、住民が愛着のもてるまちづくりを未来に継承していく必要がある。

総合計画で示されている現況と課題

現況と課題のまとめ			
防災対策について 治水対策について	消防体制について 公害対策について	防犯対策について 救急体制について	交通安全対策について 安全な消費生活について
〔総合計画で示されている現況と課題〕			
相模原市 21 世紀総合計画	城山町新総合計画	第二次新津久井町総合計画	第 4 次相模湖町総合計画
<p>安全に暮らせる都市の実現を目指します</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市の防災機能を高め、災害の発生や拡大防止に努めるとともに、市民一人一人の防災意識の高揚を図る必要がある。 日頃からの救急・救助体制を含む総合的な消防力の強化が課題である。 地域での連帯意識の高揚、連携による防犯体制の充実など地域社会の犯罪抑制力を高める必要がある。 交通災害から市民を守るために、交通安全施設の整備充実、交通安全意識の高揚など交通事故防止に向けた取組を一層積極的に進める必要がある。 安全で安心できる消費生活の確保に向けた取組を充実させる必要がある。 <p>質の高い都市基盤の整備を進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川整備・改修は洪水に対する流域の安全性を高めることに努めてきたが、環境に対する意識が高まる中で多自然型川づくりを進めていく必要がある。 通過交通の生活道路への流入により交通事故の危険性が増加している。 <p>基地全面返還の実現を目指します</p> <ul style="list-style-type: none"> 基地からの雨水流出、厚木基地の米軍機等の騒音や墜落事故の不安など、基地周辺の生活環境の保全について、積極的に取り組む必要がある。 	<p>高めたい防災への関心</p> <ul style="list-style-type: none"> 津久井地域は、東海地震防災対策強化地域に隣接し、地震災害の危険性は高く、一体的な防災対策づくりを進めていく必要がある。 <p>開発に伴う総合的な治水対策を</p> <ul style="list-style-type: none"> 相模川、串川、境川、小松川等の河川は、今後の開発や市街地の開発によっては、豪雨時における水害の危険性は高く、広域的な連携のもとに対応が必要となっている。 <p>解消したい宅地化による災害の危険性</p> <ul style="list-style-type: none"> 宅地化の進行は水害発生の恐れを招く一方で、一部地域でがけ崩れの危険性や、過密地域での新たな都市災害をもたらす可能性を高めている。 <p>消防水利と火災の未然防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防水利は市街地の拡大に対応して防火水槽及び消火栓の整備を図っているが、市街地の過密化や地価の高騰などにより用地の確保が困難となっている。 <p>複雑多様化する公害状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車の排気ガスや騒音、生活排水による水質悪化、環境ホルモンなど都市・生活型公害が顕在化している。 <p>求められる生活環境保全への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 公害苦情として寄せられる悪臭、騒音、大気汚染などは、生活環境の保全といった観点からの取組が必要となっている。 <p>増加した犯罪件数</p> <ul style="list-style-type: none"> 犯罪件数は人口増加とともに増え続けている。 <p>必要な地域ぐるみの防犯体制</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域社会の連帯意識が薄れ、地域社会のもつ伝統的な犯罪抑止機能の低下がみられることから、地域ぐるみの防犯体制の確立や地域の実情に応じた防犯灯の設置に努めていく必要がある。 増加する青少年非行に対しては、家庭、学校、地域社会それぞれが役割を分担する中、非行を誘発する環境をなくすよう努めていく必要がある。 	<p>防災体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 地形条件や交通網の状況から、地震等の大規模災害時には、孤立する地域が発生する可能性が高く、周辺市町村との連絡体制の強化が課題となっている。 災害弱者に対する円滑な救助活動を行うために、行政、町民、各種団体との実践的な協力体制を構築していくことが課題となっている。 <p>河川の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 道志川、串川、早戸川と支流の普通河川があり、普通河川は、急峻な地形や軟弱な地質であることから、洪水等による災害を未然に防止することが望まれる。 <p>消防、救急、救助体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常備消防団は、若い団員の確保が難しく、団員の高齢化が進んでいるため、非常備消防団を維持していくための措置が必要である。 防火水槽の設置にあたっては民有地を借用しているため、社会情勢の変化により、その確保が困難になっている。 <p>交通安全・防犯対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通事故が増加する傾向にあり、交通安全施設の整備や交通安全教育の普及が求められている。 昨今の犯罪が年少化や凶悪化の傾向にあることから、防犯対策が求められている。 <p>消費生活の安定</p> <ul style="list-style-type: none"> 購入した商品による事故や高齢者等への悪質な商法による被害が増加しており、的確な情報の提供や相談体制の充実が求められている。 	<p>安心できる防災体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 地勢的特性から、がけ崖崩れなどの自然災害を受ける危険が高く、森林の保全・整備が必要となっている。 宅地化の進展は、十分な基盤整備がなされないまま開発されるなど、人為的災害に結びつく可能性は高く、災害を未然に防ぐ対策を急ぐ必要がある。 <p>消防・救急体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防力の強化にあたり、現有装備の近代化や更新を進める一方、消防団員の確保や、常時消防との効率的な連携体制の確立を図る必要がある。 消防水利の上水道の拡張区域への消火栓の設置や防火水槽の適正な配置を図っていく必要がある。 <p>交通安全・地域安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全運動の推進とともに、交通事故多発路線あるいは通学路を中心に、交通安全施設の整備を進めるなどの道路交通対策が求められている。 都市化が進むにつれ、地域における住民相互の連帯感は薄れ、地域ぐるみの防犯対策は低下しつつある。 <p>豊かで安心できる消費生活の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品の安全性や訪問販売による取引の適正化などが問題となっており、消費者活動への支援を図る必要がある。

〔総合計画で示されている現況と課題〕

相模原市 21 世紀総合計画	城山町新総合計画	第二次新津久井町総合計画	第 4 次相模湖町総合計画
	<p>増え続ける救急出動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急出動件数は増加する傾向にあり、津久井郡内医療機関との円滑な連携を進める一方、救急資機材の整備や搬送体制の充実なども課題となっている。 <p>実現したい道路安全の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路幅員が不十分であることや歩道の整備が遅れていること、通勤の渋滞時に児童の登校が重なるなど交通安全の確保を図ることが難しい面もみられる。 ・狭い道路の交差点にすみ切りがないなど、道路環境上の問題も指摘されている。 <p>高めたい交通安全意識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全意識の高揚は、交通事故減少のための重要な課題となっている。 <p>複雑化する消費者問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品に対する安全性や衛生面への不安、不当表示、販売契約やサービスに関わるものなど、苦情・相談も複雑になっている。 		

総合計画で示されている現況と課題

現況と課題のまとめ

- | | |
|----------------------|----------------|
| 観光拠点の連携について | 観光農業・市民農園について |
| 自然のレクリエーション拠点について | 子どもの遊び場の確保について |
| スポーツ・レクリエーションの推進について | 国際交流の推進について |
| 既往観光施設の有効活用について | |

〔総合計画で示されている現況と課題〕

相模原市 21 世紀総合計画	城山町新総合計画	第二次新津久井町総合計画	第 4 次相模湖町総合計画
<p>水やみどりの保全と創造に努めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休養、散策、自然とのふれあいなど市民の多様なニーズに応えた個性的で魅力ある公園を整備する必要がある。 <p>美しい街並みと良好な居住環境を創造します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域で家族と気軽に過ごせる場やスポーツ・レクリエーション活動の場など多様な機能をもつ公園や緑地等の確保が求められている。 <p>国際平和と人権が尊重される社会を実現します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恒久平和の実現、人権尊重、国際協力を基本とし、世界とともに生きる地域社会づくりを進める必要がある。 	<p>資源の増資（観光）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダム建設により、河川の利用規制は強く、漁業関係者はその運用や弾力性を強く要望している。また、駐車場や釣場などを整備し、観光レクリエーション機能を高めていくことも必要となっている。 <p>拡大する町民のスポーツ・レクリエーション活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希薄になった地域の連帯意識の高揚が図られ、世帯間交流が進められる「総合型スポーツクラブ」の結成が望まれ、その指導体制の充実も課題となっている。 <p>望まれるスポーツ施設の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のスポーツ活動の場となる地域スポーツ施設の確保を図ることが望まれている。 <p>自然とのふれあいを通じたスポーツ・レクリエーション活動への欲求が高まる傾向にあり、豊かな自然を活かした施策を展開する必要がある。</p> <p>振興すべき産業としての観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客数は減少傾向にあるとともに、観光行動が多様化しているため、PR活動の拡大やイベント開催など集客の工夫が必要となっている。 <p>まちづくりとしての国際化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間による国際交流活動を積極的に支援する体制づくりが必要であるとともに、特色あるまちづくりの一環として、国際化への積極的な取組が課題となっている。 	<p>スポーツ・レクリエーションの振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての人が生涯を通じて生きがいとし、健康づくり、仲間づくりができるようなスポーツ・レクリエーション環境が必要となっている。 <p>観光の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の町内消費を促進し、観光客の宿泊も含めた滞在型の観光を展開していくことが必要となっている。 <p>町ならではの特産品づくりを促進することも必要である。</p> <p>国際理解と交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民が語学力だけでなく、国際理解・国際感覚を身につけるために支援していく必要がある。 ・外国籍町民が快適・便利に生活できるよう、必要な整備が求められる。 	<p>やすらぎのある観光地づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光レクリエーション施設が小規模で分散し、体験・滞在型ニーズへの対応が図られていない課題がある。 <p>さまざまな資源を一定のシナリオで結びつけたり、フィールドミュージアムでの資源の掘り起こし、農業・農村資源の活用が必要となっている。</p> <p>スポーツ・レクリエーションの振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動のニーズの変化に対応した環境整備や指導者の確保、自然を活用したスポーツ・レクリエーション活動の振興が課題となっている。 <p>個性をはぐくむ地域間・国際交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の国際理解学習を促進するとともに、外国人が訪れ、すみやすいまちづくりを進めていくことが課題となっている。

総合計画で示されている現況と課題

現況と課題のまとめ	
産業の振興について 企業誘致について 農業の保全、担い手について	林業の保全、担い手について 商業の活性化について 高齢者・障害者の雇用の推進について

〔総合計画で示されている現況と課題〕

相模原市 21 世紀総合計画	城山町新総合計画	第二次新津久井町総合計画	第 4 次相模湖町総合計画
<p>立地特性を生かした産業の振興を目指します</p> <ul style="list-style-type: none"> 立地特性を生かした総合的な産業振興策の推進や、新たな成長産業の創造などに努める必要がある。 経営安定化や経営革新の支援に努めるなど、中小企業の育成を図ることが求められている。 先端技術産業はさらに付加価値の高い技術集約型工業への転換が求められている。 工業適地における企業の立地促進や工業用地の保全と創出に努める必要がある。 商業は特色ある商業地の形成に努めるなど、多様な市民ニーズに応えられる商業・サービス業の振興を図る必要がある。 農業は都市農業の振興を図るとともに、都市における貴重な緑地空間として、農地を保全することが求められている。 	<p>地域産業の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 中小事業所の多くは経営基盤が脆弱であり、経営面、資金調達能力が困難といった面も見受けられる。 <p>振興すべき産業としての観光</p> <ul style="list-style-type: none"> 埋もれた観光資源を掘り起こし、組み合わせて、観光、商業や農業にも結びつけて活用する必要がある。 <p>工業環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 水源でもある豊かな自然環境と調和した、環境共生型産業の誘致が課題となっている。 <p>減少を続ける耕地面積</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街地の進展は優良農地の減少や基幹労働力の他産業への流出を招き、それに伴って兼業化と混在化が進み、農業経営をめぐる環境は厳しくなっている。 <p>農業経営の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地区の農業経営の形態は、小規模となっており、販売と流通の形態は市場出荷と都市近郊の立地を生かした直売などが行われ、地域に根ざした農業経営の確立を図っていく必要がある。 <p>付加価値の高い農業生産の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 戸あたり生産農業所得は県平均の 3 分の 1 程度となっており、生産性の向上が課題となっている。 <p>都市住民との交流（農業）</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光農業の多様化を図り、農業とのふれあいを促進するとともに、低農薬野菜の生産・販売拡大などに努めていく必要がある。 <p>木材生産としての限界</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林面積 1 ha 以下の所有者がほとんどを占め、都市化とともに資産保有的な色合いが濃くなっている。 森林のもつ水源涵養、自然環境保全機能を発揮するため、林地の保全を図り、木材生産以外の林野の活用が期待されている。 	<p>工業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 古くからの繊維、木材関連工業等の地場産業は、シェアも落ち込んできている。 大規模な工場誘致は難しいと考えられ、今後は成長が期待される産業分野に絞り、誘致・育成を図ることが課題となる。 <p>新たな産業拠点の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> さがみ縦貫道路や津久井広域道路の整備を生かし、企業を誘致し、環境に配慮した形での集積を図ることが課題となる。 <p>農業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊休・不耕作地が広がり、農地利用率も低下の一途をたどっており、農業生産基盤の整備を行うことが重要となっている。 農業就業人口の減少と担い手の高齢化、後継者不足が生じており、問題となっている。 <p>林業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林所有面積は小規模で経営基盤は弱く、木材価格も低迷しているため、林業後継者は著しく減少している。 森林に対する町民および首都圏住民の理解と協力のもとに、森林の総合利用を図ることが課題となっている。 <p>商業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費購買力の町外流出を防止するためにも、商工会等と連携して商店の魅力を高めるための取組を強化する必要がある。このため、新たな補助制度等、小規模商店を支援するための制度を充実する必要がある。 <p>雇用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 雇用の確保は問題であり、特に高齢者や障害のある人等の雇用状況は厳しい。また、雇用に関する情報の不足も問題となっている。 	<p>優れた自然環境を生かした産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 優れた自然環境を生かした企業立地に努めていく必要がある。 <p>立地性を生かした農業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市化や高齢化の進展とともに、農地と住宅地の混在化や就業人口の減少、第 2 種兼業農家の増加などが進み、農業生産体制の低下が顕著となりつつある。 安定的な生産を展開し、他産業と遜色ない所得を実現できる経営体の育成が課題となっている。 都心に近い優位性を生かしながら農業資源と加工、販売、交流を結びつけた振興を進めていく必要がある。 <p>林業の新たな展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 輸入木材の拡大や木材価格の低迷などにより、林業は厳しい状況にある。 森林の国土保全や環境に果たす役割、森林とのふれあいなど多様な機能を重視した視点が求められている。 <p>地域の生活を支える商業・サービス業の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民はもとより観光で訪れた来街者も買い物を楽しむことのできる環境整備が必要となっている。 新たなサービスの起業化や人材育成の支援など、サービス業の振興を図っていく必要がある。 <p>ゆとりある就業環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者・障害者を含む各層が、経験・能力・技能を發揮できる就業環境づくりが必要となっている。 労働時間の短縮と余暇時間の充実によるゆとりある就業生活の確立が必要となっている。

〔総合計画で示されている現況と課題〕			
相模原市 21 世紀総合計画	城山町新総合計画	第二次新津久井町総合計画	第 4 次相模湖町総合計画
	<p>拡大する商業規模</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の商業は最寄品の販売が主体であり、買回品に対する地元購買率は低く、周辺市への購買の流出がある。 ・さがみ縦貫道路の整備により、町における卸売、流通機能の高まりが予想され、そのための用地も課題である。 <p>核の形成と後継者対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業環境は核となる商店街が形成されておらず、娯楽性、回遊性といった要素を欠いており、核づくりが課題となっている。 ・事業者への指導や後継者の育成が課題となっている。 <p>増加するサービス産業就業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス産業は、地域特性をさらに活かした余暇関連サービスなど、その育成・進行を幅広く展開していく必要がある。 <p>充実したい勤労者の福利厚生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勤労者の福利厚生の向上を図る必要がある。 <p>求められる高齢者や障害者の雇用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障害者の就労の場と機会は十分とはいえない状況にあり、就労機会を増大する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用を求めるすべての人が、その適正に応じた職業に就くことを支援するとともに、雇用を求める人と人材を求める企業との間の橋渡しとなる仕組みづくりが必要である。 	

総合計画で示されている現況と課題

現況と課題のまとめ			
学校施設の充実について 学校教育の充実について 生涯学習の推進について 文化施設の活用について		幼児教育の充実について 地域内でのこどもの教育について 文化財の保護について 学校給食の実施について	
〔総合計画で示されている現況と課題〕			
相模原市 21 世紀総合計画	城山町新総合計画	第二次新津久井町総合計画	第 4 次相模湖町総合計画
人間性豊かな子供を育成します ・一人一人の児童・生徒を大切にしたいとある教育活動を展開する必要がある。 ・小中学校の新設、校舎の耐震化や改築など学校施設の整備を推進する必要がある。 ・地域ぐるみでの子育てなど家庭や地域の教育力の充実を図ることが必要である。 いきいきとした生涯学習社会をつくります ・市民のライフステージに対応した多様な学習機会の充実、自主的な学習活動を促進する環境づくりに取り組むことが必要である。 彩りのある市民文化を創造します ・芸術・文化を育む環境づくりや様々な文化交流を促進し、いきいきとした市民文化の振興に努める必要がある。 ・地域風土に培われた郷土芸能や文化の保存、活用を通じて郷土意識の醸成に努め、市民の一体感を形成できる相模原らしさの創出が求められている。 輝き魅力あるまちづくりを進めます ・豊かな自然や多彩な伝統、文化が織りなす観光資源の整備に取り組むとともに、市民余暇施設の整備を図るなど、新しい発見に心ときめく相模原らしい魅力の創造に努める必要がある。	充実した学校環境の創出 ・義務教育施設は、計画的に施設・設備の整備・充実を図ることが課題であり、余裕教室の活用や緑化の推進などを通じて、ふれあいというおいある教育環境をつくりだしていくことも重要である。 個性ある学校運営と新しい時代への対応 ・生涯学習時代の要請にこたえて、質の高い教育活動を展開することも課題となっている。 充実したい心身障害児童教育 ・心身に障害をもつ児童・生徒に対しては、特殊学級をはじめとする教育体制および教育環境の充実が望まれる。 必要とされる生涯学習推進体制の充実 ・家庭・学校・地域社会がそれぞれの機能と役割に応じて連携を深めることにより、総合的な生涯学習の推進体制を充実することが重要な課題となっている。 望まれる高等学校・大学との連携 ・町民の学習意欲の高まりに対応していくため、高等教育機関における施設、人材の活用が望まれており、施設開放も含めた、連携養成が課題となっている。 望まれる生涯学習活動の充実 ・町立公民館、自治会館、小中学校の地域開放教室を利用して自主的、自発的に活動する団体に対する支援や施設の整備充実が課題となっている。 重要な歴史文化遺産の継承・活用 ・町史編纂事業を通じて収集・研究された歴史・文化資料を、学校教育などで有効利用するとともに、展示・活用する施設の整備を進めることが課題となっている。 就園状況 ・園児数は減少が続いており、町内諸施設との関連を考慮しながら町立幼稚園廃止に向けた取組が課題となっている。	学校教育の充実 ・いじめや不登校等の問題への対応、国際社会に対応できる児童・生徒の育成が課題となっている。 ・大規模地震等の災害が発生した際に、児童・生徒の安全をいかに守っていくかが、課題となっている。 ・学校施設については、青野原地域での施設の老朽化が問題となっている。 社会教育の充実 ・生涯学習に対する関心は高く、自己学習や相互学習ができるように、町内の学習環境を体系的整備し、情報提供を行っていく必要がある。 地域文化の振興 ・町内の文化活動のための環境を整えるとともに、町外も含めた交流を促進し、自主的な活動を支援していく必要がある。 幼児教育の充実 ・保護者の教育力の向上を図りつつ、家庭・地域・教育機関が協力して子どもたちの健全育成を目指すことが必要となっている。 青少年育成の推進 ・青少年の健全育成に向け、教育機関、家庭、地域がそれぞれの力を発揮しつつ、連携を深めていくことが急務となっている。 文化財の保護・活用 ・文化財・文化遺産の保護・保存を行う必要があり、郷土資料館のあり方を研究していく必要がある。	人材をはぐくむ学校教育 ・児童・生徒の一人ひとりの能力、個性を育て、体験活動を通して、たくましく健康に「生きる力」をはぐくんでいくことが課題となっている。 ・学校図書室や学校給食施設の充実・整備を図るとともに、学校緑化などに努め、地域のシンボルとなる学校づくりが課題となっている。 地域で学ぶ生涯学習の推進 ・既存の公共施設を生涯学習施設と位置づけ、施設の改善・ネットワークを図ることが課題となっている。 ・住民の自主的な学習活動を支援する人材や情報のネットワーク化が課題となっている。 地域文化の創造・育成 ・有形・無形の文化的遺産を継承していくことが課題となっている。 ・自主グループの文化活動を活発にしていくことが課題となっている。 豊かな心をはぐくむ就学前教育 ・適正規模による教育効果を高めるため、幼稚園・保育園を含む幼児教育の施設の再編・充実が課題となっている。 21 世紀を担う青少年の健全育成 ・地域における文化スポーツ活動やボランティア活動への取組などの活動機会の提供と指導する人材の育成が課題となっている。 ・青少年の犯罪や非行も増える傾向にあり、子ども育成会や青少年指導員活動の活性化を図るほか、青少年の悩みに応える相談体制の充実が必要となっている。

〔総合計画で示されている現況と課題〕			
相模原市 21 世紀総合計画	城山町新総合計画	第二次新津久井町総合計画	第 4 次相模湖町総合計画
	<p>幼児教育の重要性の高まり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園がもつ専門的機能と家庭や地域社会とが連携することにより、広い視野から幼児教育に取り組んでいくことが課題となっている。 <p>望まれる青少年の健全育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年が地域社会で健全にいきいきと生活ができるよう、家庭・学校・地域社会が連携を密にし、町ぐるみで青少年の健全育成を進める活動を展開することが必要である。 <p>広がる文化活動の輪</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城山らしい特色ある地域文化を創造していくため、町民が中心となった地域文化振興のための組織づくりや行政の文化性を高めるなど、地域文化を振興するための推進体制を充実していくことが必要となっている。 		

総合計画で示されている現況と課題

現況と課題のまとめ			
医療体制の充実について	障害者福祉の充実について		
児童福祉の充実について	地域福祉の充実について		
高齢者福祉の充実について	低所得者福祉の充実について		
〔総合計画で示されている現況と課題〕			
相模原市 21 世紀総合計画	城山町新総合計画	第二次新津久井町総合計画	第 4 次相模湖町総合計画
<p>生涯にわたる健康づくりを進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の健康づくりに対する支援、ライフサイクルに応じた保健サービス、専門的な保健サービスの充実など、サービス供給のための体制づくり、施設整備を推進する必要がある。 食品等の安全性確保、環境衛生施設の衛生水準の維持、向上に向けた対応が求められている。 医療機関相互の効果的な連携を図るなど、病診連携による総合的な医療サービス供給の体制づくりが求められている。 <p>子供が健やかに育つ環境づくりを進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な保育ニーズに対応した適切な保育サービスの提供や子育て相談・支援体制の充実など、保育所機能の拡充等に努める必要がある。 <p>安心して生活できる福祉社会をつくります</p> <ul style="list-style-type: none"> 相互扶助の理念と自立自助を基本とし、市民・民間・行政の適正な役割分担のもと、幅広い市民参加による福祉活動を一層進める必要がある。 障害者や高齢者をはじめとしたすべての人々が安心して暮らし、自由に社会参加できるようバリアフリーの推進に努める必要がある。 要援護高齢者を支える地域ケアシステムの構築や、高齢者の積極的な社会参加を促進するための新たな生きがいづくりが求められている。 自己の努力だけでは生活することが困難な世帯に対する自立援助等に向けた取組や、市民の健康と老後の安定した生活を守る社会保険制度の円滑な事業運営と制度の一層の充実が求められている。 	<p>求められる疾病構造の変化に対応する健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 町民が日常的に健康管理や健康づくりが進められるように、その体制を整備することも課題になっている。 <p>急がれる包括的な健康管理体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康実現のため、健康診査体制をライフサイクルに即して充実していく必要がある。 <p>核家族化が進む中で、地域ケアシステムの充実も緊急の課題となりつつある。</p> <p>多様化・高度化する医療ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内医療機関の充実とホームドクターの普及、医療機関相互の連携強化など、安心できる医療体制づくりが必要となっている。 <p>拡充必要な救急医療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次救急の圏域の見直しと歯科など診療科目の拡大、救急応需医療機関の拡大と機関相互の連携などを図っていく必要がある。 <p>複雑化する児童の育成課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市化の進展に伴う遊び場の減少が深刻化しつつあり、地域ぐるみで児童を安全に育てる環境づくりや児童相談体制の充実が必要となっている。 <p>母子・父子家庭も増加しており、きめ細かな援助サービスの充実と自立の促進が必要となっている。</p> <p>増加する要援護老人と障害者</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅介護を必要とする高齢者が増加しているため、在宅福祉サービスを充実する必要があり、保健・医療と一体化した地域ケアシステムの確立が課題となっている。 <p>活動の拠点と福祉施設の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 要援護高齢者の増加に伴って施設サービスニーズが増大・多様化していることから、福祉センターの在宅福祉拠点としての機能の充実を図る必要がある。 	<p>保健医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化と疾病の複雑化が進行しており、医療体制の一層の充実が求められている。 国民健康保険税の滞納が増えていることから、保険の健全化に向け、滞納対策の強化を図る必要がある。 献血する人が減少傾向にあり、輸血用血液の不足が懸念されている。 <p>児童・母子（父子）福祉の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育てに対する不安をもつ保護者が増え、育児相談の充実、病気や用事で一時的に子どもをみられない保護者への支援が課題となっている。 保育ニーズの変化に対応して、延長保育や乳児保育、一時保育、地域との交流を進めるとともに、施設や設備を含めた保育環境の整備について検討する必要がある。 <p>高齢者福祉の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加が予測される。 高齢者の社会参加機会の創出、自主的活動への支援が求められている。 <p>健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の健康づくりと介護予防が重要になっている。 <p>地域福祉の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> まちづくりの面、人々の意識の面で、障壁のないバリアフリー社会を作り上げることが課題となっている。 自主参加型の福祉社会の創造に向け、町民を主体とした福祉体制の構築が課題となっている。 <p>心身障害者（児）福祉の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害のある人がライフサイクルのすべての段階で必要な訓練を受け、社会参加できる体制を整備する必要がある。 	<p>みんなですすめる健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健活動拠点施設の整備や指導體制の強化を図り、健康づくりに関わる施策を充実していく必要がある。 リハビリテーションや在宅サービスなどの充実を図っていく必要がある。 <p>児童と子育て家庭への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 大幅な定員割れを生じている保育園があり、地域的な不均衡が生じている。 小学校低学年の放課後児童対策（学童保育）が課題となっている。 児童の成長にとって欠かせない集団遊びの場や機会が縮小、減少する傾向にある。 母子・父子家庭の増加が予測されている。 <p>高齢者のいきいきとした暮らしの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅福祉サービス、施設サービスの両面からサービス基盤を整備する必要がある。 高齢者が地域で自立した生活が営めるように日常生活への支援や居住環境の整備を充実する必要がある。 高齢者が長年培ってきた知識や経験を地域で活用できるように、生きがい事業団を充実していく必要がある。 <p>障害者の自立生活支援と社会参加の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害があっても地域でともに生活できるように、施策の充実が必要となっている。 障害者に対する地域住民の理解を深めるとともに、障害者自身も主体的に様々な社会活動に積極的に参加していくための環境整備が課題となっている。

〔総合計画で示されている現況と課題〕			
相模原市 21 世紀総合計画	城山町新総合計画	第二次新津久井町総合計画	第 4 次相模湖町総合計画
<p>安心して生活できる福祉社会をつくれます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の主体性と自立性が尊重され、障害者が自らの意思により、住み慣れた地域で安全で快適に生活できる環境づくりを進める。 	<p>拡大が重要な障害者の社会参加の場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害は早期に発見し、適切な時期に療育・訓練を行うことで、その軽減や社会適応力の向上が期待できることから、早期発見体制の強化やリハビリテーション体制の整備・充実を図ることも必要となっている。 ・ 求められている新しい福祉システムの構築 ・ 住み慣れた家庭や地域の中で、福祉サービスを受けたいとする要望は強まっていて、身近な地域を基盤に服しサービスを展開していくことが重要である。 ・ 急がれる地域福祉体制の整備 ・ 福祉のニーズは多様化しており、福祉と保険・医療との一体化、住宅・道路・公園などの都市基盤、生活環境、雇用、教育・文化などあらゆる分野との連携強化が必要になっている。 ・ 大切な福祉の環境づくり ・ 道路や公共施設のバリアフリー化などにより、高齢者や障害者が社会参加活動をしやすい都市環境を整備していくことが課題となっている。 ・ 自立に必要なきめ細かな対応（社会保障） ・ 被保護世帯のほとんどは傷病・障害世帯、母子、高齢者などの要援護世帯であり、援護サービスの充実が必要となっている。 	<p>低所得者福祉の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被保護世帯の生活向上を図るため、生活保護基準の改善が必要となっている。 	<p>住民参加による地域福祉の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉拠点施設の整備、人材の確保やボランティア活動の普及等を生かして適切に福祉サービスを展開できるような推進体制の整備が必要となっている。 ・ 高齢者をはじめ、住民だれもが外出し、社会参加活動しやすいバリアフリーのまちづくりが課題となっている。 ・ 自助と互助による生活保障 ・ 生活基盤の弱い低所得世帯に対して、生活相談を充実し、自立への支援を強化していく必要がある。 ・ 町が保険者として運営している国民健康保険事業の健全な運営に努める必要がある。 ・ 国民年金の円滑な運営につとめる必要がある。

総合計画で示されている現況と課題

現況と課題のまとめ	
地域コミュニティの形成について 自治会の運営について	男女共同参画社会の形成について 住民と行政の関係について
〔総合計画で示されている現況と課題〕	
相模原市 21 世紀総合計画	城山町新総合計画
<p>個性豊かなコミュニティづくりを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民自らが主体的に地域の課題解決に取り組むことや、コミュニティ活動の活性化への新たな取組が必要である。 ・心の通い合うコミュニティづくりが大きな課題となっている。 <p>国際平和と人権が尊重される社会を実現します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる場において女性が力を付け、意志決定、方針決定の過程に参加していくことが必要である。 	<p>期待されるコミュニティ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の連帯意識が弱まっていくことが予想され、町民相互のコミュニケーションを基本とした新しい地域社会の形成を図ることが課題となる。 <p>望まれるコミュニティ活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動の多様化に伴って、既存施設の活用とともに、新たなコミュニティ施設の整備に対する支援などが求められている。 <p>自らがつくるまちづくりの実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政と町民の信頼関係を強力なものとするため、自治組織の活動を支援していくとともに、コミュニケーションの円滑化や行政への町民参加の機会拡充を推進していく必要がある。 <p>求められる男女共同社会への意識改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女の役割分担が根強く残っているため、男女共同社会への意識づくりを男女の共通課題として取り組む必要がある。 <p>必要な女性の社会参加のための環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の社会参加を進めていくために、家庭、地域、職場における環境条件を改善・整備していく。
第二次新津久井町総合計画	第 4 次相模湖町総合計画
<p>コミュニティ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の自主的参加によるまちづくりを支援し、町民の様々な能力を発揮できるような環境の整備が求められる。 ・地域コミュニティの活動拠点として、小学校区を基本に地域センターの整備が求められている。 ・自治会活動に助成するとともに、その活動拠点としての自治会館の建設をさらに促進する必要がある。 <p>町民主体のしくみづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障害のある人、女性、外国人等、町民だれもが参加できるしくみを築いていく必要がある。同時に、参加するそれぞれの立場での責任領域や役割分担を明確にし、一定のルールを定めていくことが重要である。 <p>男女共同社会の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民における男女共同参画社会に関する意識の醸成のため、学習機会の創設や情報提供等の実施が必要である。 ・審議会等への積極的な女性の参画を進める必要がある。 	<p>活力とふれあいのあるコミュニティの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動基礎となる自治会の組織化を促すとともに、活動拠点としての地域集会施設の改善・整備を促進していく必要がある。 ・地域に密着したコミュニティ活動を振興し、ふるさと意識を育てていくことが課題となっている。 <p>男女共同参画社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭や職場、地域において男女がともに参画する機会の拡充、保育環境の整備や在宅福祉サービスの拡充など、男女共同参画社会づくりの条件整備が大きな課題となっている。 <p>住民参加の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりへの活動支援に努め、住民主体による身近な地域でのまちづくりが必要となっている。 ・高度情報化に対応した広報活動を展開することが課題となっている。

総合計画で示されている現況と課題

現況と課題のまとめ			
行政サービスの充実について	近隣市町村との連携について		
広報・広聴活動の推進について	財政基盤について		
情報公開の推進について			
〔総合計画で示されている現況と課題〕			
相模原市 21 世紀総合計画	城山町新総合計画	第二次新津久井町総合計画	第 4 次相模湖町総合計画
<p>高度情報化への対応を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報通信技術を活用し、事務処理システムの見直しなど行政事務の高度化、効率化を進めるほか、プライバシーの保護や災害時等におけるシステムの安全性の確保に努める必要がある。 <p>広域交流都市を目指します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域的な行政需要に応えるため、様々な分野で他都市との交流や連携を深めるなど、広域行政の推進に努める必要がある。 	<p>広報・広聴活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一層の広聴体制の強化とともに、意見、要望を効果的に町政に反映するフィードバックシステムを確立する必要がある。 <p>情報公開と個人情報の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりへの参加を促進するため、情報公開条例の適正な運用を推進する必要がある。 <p>求められる近隣市町村との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ処理、消防活動、救急・救助体制などとともに、今後需要が拡大すると考えられる福祉サービス、高度医療への対応を検討していく必要がある。 ・ 観光・レクリエーション拠点の整備・ネットワーク化、広域交通網など広範囲にわたる一層の連携・協力が必要となっている。 <p>財政状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政力指数も県下では下位に属し、依然財政力の低い状況が続いている。 <p>求められる多面的な財政運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的な都市基盤整備に加えて新たな社会資本形成のための財政投資など、町民生活の維持向上に向け増大する財政需要に対応するため、安定した財政基盤の確立が課題となっている。 	<p>広報・広聴の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町民意向の把握のため、広報広聴機会の増大が求められている。 <p>情報公開の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開かれた行政を実現し、町民の行政に対する信頼を確保するため、情報公開の推進に努めることが課題となっている。 <p>近隣市町村との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 津久井郡広域行政組合を設立し、ごみ処理、し尿処理、消防等の業務を行ってきた。近年は、増え続ける負担金等の問題から、より効率的な事業運営を図ることが課題となっている。 <p>効率的な行財政運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政サービスの量と質の置き換えおよびこれに伴う費用の置き換えを基本に、行財政改革を推進する必要がある。 	<p>総合的な行政運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務事業の整理合理化、民間委託などによる効率的な事業実施が課題となっている。 <p>広域的な連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域行政によりごみ・し尿処理、消防・救急業務、夜間診療所の運営を行っているが、公共施設の相互利用、共同設置等、新しい行政課題が生じている。 <p>健全な財政運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町税は特別減税や景気後退などにより小幅な伸びにとどまり、公債費比率が上昇するとともに、負担も大きくなっており、財政運営は厳しい局面を迎えている。

都市内分権の意義と展望

牛山久仁彦
明治大学助教授

1. はじめに

地方分権改革で市町村に求められるもの

- 分権を引き受けるだけの政策形成能力と参加型の自治体経営
- 職員の能力とそれを生かす効率的な組織
- 住民ニーズの充足と効率的な財政運営
- 自治の名に値する近代的な政治システム

総合行政主体の
形成が求められる

- さらに、「社会情勢の変化」と「豊かな」時代が自治体「経営」を求める
行政サービスから公共サービスへ ... 行政が公共を独占する時代状況ではない
- ・公共サービスの多様化と市民自治
 - ・市民の自治体政府を創る
 - ・住民が安心して安全に暮らせる地域社会

2. 分権社会の到来と自治体の改革

規制改革、財政構造改革、社会福祉基礎構造改革など改革課題が山積み

- 分権改革の本質 政府 = 行政から市民への分権の必要性
- ・分権時代にふさわしい市民の参加と実践を実現する必要
 - ・「居眠り自治体」は沈没する(市民の責任も)
 - ・行政は政策形成能力の拡大と市民への問いかけが必要

3. 都市内分権と地域自治

(1) 地方分権改革と大都市

地方分権の「受け皿」 - 市町村合併と自治体の大規模化

「西尾試案」の衝撃

- 国の合併誘導策の限界 - 自治体の最低規模の検討と「合併しない自治体」へのムチ
全国の町村を合併に走らせる
- 地域自治組織のあり方を提案 - 都市内分権・自治体内分権の考え方を示す
自治のあり方が問われる

地方制度調査会答申と法制度改正の行方

- ・内容は「西尾試案」を踏襲し、人口規模を明示して都道府県が市町村合併計画を策定

- 1万人以下の町村は、合併を迫られる可能性
- ・市町村連合ないし「軽量自治体」の選択可能性も示唆
- ・地域自治組織のあり方など、都市内分権を指向 区の設置の方向性
- ・都道府県のあり方にも言及

相模原市の場合は、既に 60 万人の規模をもった大都市

- 都市内分権がなければ「遠い自治体政府」のまま
- ・合併の言い訳ではない、本当の都市内分権
- ・政令指定都市とは異なる区域設定と行政分権
- ・1市3町合併の行方と都市内分権

(2) 参加の実質化と市民のエンパワメント

新しいコミュニティ組織の考え方 - 自治会・町内会の課題

区の設置が現実味 - 都市内分権実現のための基盤づくりが求められる
形式上の政治参加システムの限界と実質的な参加のシステム - 市民の「知恵」の結集
参加による行政ニーズの把握と充足
パブリックコメント(PC)・パブリックインボルブメント(PI)の展開と参加の可能性

4. まとめ

都市内分権 = 行政分権と市民分権が車の両輪

今後の検討課題 ... 行政分権の具体化(庁内調整・市民ニーズとの調整)
市民自治の具体化に向けた市民の意識改革と協働

- ・ 総合行政センターの設置区域(地域自治区との関係)
- ・ 地域コミュニティのあり方
- ・ 合併による1市3町の中での都市内分権

他のまちづくりビジョンにおける「将来像」「まちづくりの柱」事例

協議会名	構成市町村	将来像(キャッチフレーズ)	まちづくりの柱(目標)
一関地方任意合併協議会 (岩手県)	一関市、花泉町、東山町、川崎村	人と人、地域と地域が結び合う みんなで創る みのく理想郷	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある多様な産業が展開し『活力と豊かさがみなぎるまち』づくり ネットワークが充実し『人々の活動と交流が広がるまち』づくり 美しい自然が響き合い『環境にやさしく心地よいまち』づくり 安らぎと生きがいで『幸せを実感できるまち』づくり 現在(いま)と未来を拓く『住民活力を培うまち』づくり
飯舘村・鹿島町・原町市 任意合併協議会 (福島県)	飯舘村・鹿島町・原町市	山・川・海 豊かな自然が心をひとつにつなぐまち	<ul style="list-style-type: none"> 水と緑の自然を生かした環境先進地のまちづくり 高速交通時代に対応する高付加価値産業のまちづくり 7万都市にふさわしい安全で賑いのあるまちづくり 地域ぐるみで支えあう健康・福祉のまちづくり 個性が光るいきいき生涯学習・スポーツのまちづくり 市民が主役・住民自治のまちづくり
田無市・保谷市合併推進協議会 (東京都)	田無市、保谷市	21世紀を拓き 緑と活気にあふれ一人ひとりが輝くまち	<ul style="list-style-type: none"> 地域の中で支えあう福祉のまち 環境にやさしく美しいまち 若者を育てるまち 安全で快適なまち さまざまな産業が育つまち 市民が参加する活力あるまち
長岡地域任意合併協議会 (新潟県)	長岡市、三島町、中之島町、越路町、小国町、山古志村	人は財、いきいき都市・新ながおか	<ul style="list-style-type: none"> 独創企業が生まれ育つ都市 元気に満ちた米産地 世代がつながる安住都市 世界をつなぐ和らぎ交流都市
参考(1市3町総合計画)			
相模原市	相模原市 21世紀総合計画	輝きと愛があふれる人間都市 さがみはら	<ul style="list-style-type: none"> 学びあい あたたかさのある福祉文化都市 ゆとりある みどり豊かな環境共生都市 躍動し 魅力あふれる交流拠点都市
城山町	城山町新総合計画	水と緑に町民の健やかさがこだまする憩いある生活都市・城山	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある生活創造都市 安全で快適な生活創造都市 活力ある豊かな生活創造都市 健康でゆとりある生活創造都市 豊かな人間性を育む生活創造都市
津久井町	第二次新津久井町総合計画	水源文化都市・津久井	<ul style="list-style-type: none"> 自然と調和した都市基盤の創造 いきいきと暮らせる生活環境の創造 すこやかで心ふれあう健康・福祉の創造 個性をのばす教育・文化の創造 新しい流れをつくる産業の創造
相模湖町	第4次相模湖町総合計画	ひとと自然をつなぐ活力ある林間都市・相模湖町	<ul style="list-style-type: none"> 安心して暮らせる福祉のまち ひとと自然が織りなす生涯学習のまち 人と自然にやさしい快適環境のまち 安全で暮らしやすい生活環境のまち 新しい環境に対応した地域産業のまち 住民とともに歩むまち

第6章 新市町建設に向けた基本方針

1 新市町の将来像

箱根・伊豆の山々に囲まれ、相模湾に開かれた気候温暖な新市町は、真鶴半島や奥湯河原自然公園に代表される豊かな自然環境と温泉をはじめとした豊富な観光、海洋資源に恵まれ、穏やかでふれあいに満ち「ゆとり・豊かさ」を実感できるまちです。

将来にわたりこの豊かな資源を育み、活力と誇りを持って住み続けることができるようまちづくりを進めていきます。

そこで、新市町で共有するまちづくりの将来像を次のように定めます。

ふるさと真鶴・湯河原 豊かな自然と文化を継承するまち

2 新市町づくりの柱

新市町の将来像『ふるさと真鶴・湯河原 豊かな自然と文化を継承するまち』の実現に向けて5つの柱を立てました。

(1) 地域の魅力を高め、活力あふれるまち

新たな時代の活力あるまちづくりに向けて、農林水産業や商業などと観光との複合化による滞在型の観光振興に努めるとともに、地域発展をリードする拠点整備を進めます。

また、観光地の魅力を高めるため、自然的、歴史的、文化的資源を活用するとともに、花と水のまちづくりを進め、もてなしの心や感動を体験できる機能の付加充実に努めます。

(2) 山と川と海を守り、安全で快適なまち

身近な花や緑から箱根山まで広がる緑の環境、それらと一体となった清流と豊かな海。これらは2町の財産であり、住む人にも観光客にも落ち着きとゆとりを感じさせます。2町の住民がこれら優れた自然環境の中で、誇りを持って生活し続けることができる、災害に強い、安全で快適なまちづくりに努めます。

(3) 少子高齢社会に対応した、健やかで心かようまち

少子高齢社会の中で、地域のふれあいや助け合い、さらに住民参加による身近なところでの地域づくりなどを基本に、安心で利便性の高い健康・医療・福祉環境づくり、生涯健康づくりに努め、健やかで心かようまちづくりを進めます。

また、町を訪れる人々の高齢化も進んでいることから、高齢者が安心して訪れることができるよう施設の改善等に努めます。

(4) 国際化、情報化に対応した豊かな教育と文化を育むまち

次代を担う児童、生徒たちが豊かな人間性や社会性、国際性を育むために、地域に根ざした特色ある教育と、自ら学び自ら考える力を身につける教育を良好な教育環境の中で推進していきます。

また、地域の文化的遺産を保存し、地域の歴史を生かしながら、文化の香り高い誇れるまちをつくるため、幼児から高齢者までがそれぞれの段階に応じて「いつまでも、どこでも、だれでも、自由に学ぶことができる」ように、さまざまな学習機会の提供に努めます。

(5) 地方分権に対応した住民参加のまち

地方分権の流れの中で、住民のまちづくりに対する意欲と期待、そしてエネルギーに支えられた自立的な新市町づくりを進めます。

まちづくりの将来ビジョン検討委員応募レポート要旨

レポートの内容から、まちづくりの提案等に関する部分を抜粋したもの（応募順）

レポ ー ト 要 旨	
1 城	<p>地域コミュニティの復興、自然との共生</p> <p>相模原市との合併は吸収合併であるが精神的には逆で、コミュニティとはなんたるかを教えていくべきであると思う。自然を肌で感じながら勉強できるよう、自然を整備していくことが合併後の城山町の役目だと思う。</p>
2 相	<p>地域にあった都市像を</p> <p>津久井地域が相模原市のような都市機能が充実した都市になる必要はないし、相模原市に湖や山を作るのは無理。その地域にあった都市像を考える必要がある。</p>
3 相	<p>人と自然が共生する人間都市</p> <p>相模原と津久井の合併により、「人と自然が共生し、輝きと愛があふれる人間都市」を実現することが可能となる。</p>
4 相	<p>自然を生かした魅力ある産業、学園、観光都市づくり</p> <p>特徴ある学園、観光都市としての交流拠点の整備を、民間資本の導入等により行うことにより、市税収の向上や建設業の活性化を図る。</p> <p>合併による行政改革効果、インフラ整備のバランス</p> <p>合併による行政の効率化、職員、議員、経費削減等の行政改革も重要であるが、交付金、地方債の有効活用等、いつまでに何をやるのかを明確にし、行政、住民の共通理解を持つことが必要。</p> <p>市民自らの責任、義務の自覚</p> <p>財政難の厳しい状況下、少子、高齢化、が進む中で自分たちができることは自分たちでやるといふ、一人一人の自覚が必要。</p>
5 城	<p>地域が個々に生き生きとしており、その連合体としての元気な都市</p> <p>地域の特性をこれまで以上に発揮できるコミュニティを作り、連携できる仕組みを構築する。</p> <p>情報の共有化</p> <p>市域の拡大、人口の増大の中で、どのように情報の共有化を図っていくかということが重要。</p> <p>高齢者の積極的な活用</p> <p>元気な高齢者を増やしたい。</p>
6 湖	<p>人と自然が調和したまち、ソフト面の充実による若い人が住みやすいまち、お互いがないものを補ったまちづくり</p> <p>都市機能を持った部分と、癒してくれる自然環境が両立してこそ理想の都市</p>
7 津	<p>中核都市憲章の立案と、実現のためのP D C Aの実施</p> <p>各市町の施策を調整し、建設的に改革改善を行う</p> <p>産業の立地条件を生かした生産活動の補強、働きやすい仕事場の創造</p> <p>中高一貫教育、山村留学等教育の再構築</p>
8 相	<p>単なる総合計画の羅列ではなく、将来を見通した上で調和していること</p> <p>合併によるスケールメリットの拡大と、自然環境が財産になる。高齢化社会を見据え、効率の良い行政体を作る。</p>

レポ ー ト 要 旨	
9 相	<p>地域主権・市民主権の考え方で</p> <p>地域性を理解し、その地域の価値観をできる限りまちづくりに反映させていく。都市内分権が、行政機能分散のみに終わることなく、行政と地域住民が協働して各地域のまちづくりを進める。</p> <p>地域の個性を生かしたまちづくり</p> <p>地域の伝統や特性を生かすことができるまちづくりを、その地域住民の手に委ねることが重要。</p>
10 津	<p>不公平を感じることはない行政の枠組み</p> <p>津久井地域の里山環境・水源環境を上手に保全・活用するまちづくり</p>
11 湖	<p>それぞれの地域にあったまちづくり</p> <p>住民が中心となり、地域に合ったまちづくりが行われることが、やがて新しい市の特徴となり魅力的で素敵なまちとなっていく。</p> <p>スケールメリットを生かした行政運営を行うことで効率化を図る</p> <p>様々なものを生かすチャンスとして、広域的な視点に立って考えていく必要がある。</p>
12 相	<p>笑顔と愛情いっぱいのまち</p> <p>家族や自治会という小さな輪が元気に形成され、その輪がネットワークを作り拡大していく。人と自然が共創しあう生活を大切にする。</p>
13 湖	<p>自分たちの自然は自分たちで守る</p> <p>水源地ゆへの規制により苦しい財政運営を余儀なくされている町と、水の供給により発展した市がいっしょになることでお互いの気持ちもわかる。</p>
14 相	<p>3町が過疎化しないよう、都市内分権を</p> <p>ベッドタウンである相模原市と、自然豊かな津久井3町がどのような形で合併するのが良いか、じっくりと話し合うことが大切。相互互助の精神、国の将来を考えて行動する。</p>
15 相	<p>新市の建設計画は必要最小限に</p> <p>合併特例債のために合併を急ぐのはもってのほか。</p> <p>行政が身近になり、住民自治が進んだまちづくり</p> <p>住民自らの創意工夫によって、住民自らがサービスの担い手になることで、質を落とすことなく住みやすいまちづくりが実現できる。それには、市内を区のような組織に分け、各区に財源と権限を持たせるなど実行力のある住民自治が必要。</p>
16 湖	<p>町役場の接遇のよさを失わないように</p> <p>合併して大きくなった都市の山間部の荒廃への対応</p>
17 城	<p>少子高齢化、地方分権に対処するにはある程度自治体としての大きさが必要</p> <p>線引きや中学校給食の格差等の課題を協議会で協議し、住民に説明を</p>
18 湖	<p>町有林（分権林含む）や財産区林、農地法（特に農振法）の取扱</p> <p>市中心部と郊外との差異のない行政のあり方</p>
19 相	<p>住民の視点に立って知恵を生む自治体、税金を効率的に必要なところに使う自治体</p> <p>効率化は合併によってある程度達成できるが、行政のあり方・やり方を見直し無駄使いをなくすことが求められており、地域住民がまちづくりに参画することが理想。</p>

レポ ー ト 要 旨	
20 相	これからのまちづくりは、住民が地域社会生活に参加する仕組みや環境を整えること 人々の貢献を前提とした交流が促進されるようなモデルに基づいて、コミュニティを構築して いく。
21 津	都市と自然が融合した自然環境共生型の都市を目指す 区政などを引き、都市内分権の推進により中心部に片寄らないまちづくりの推進 各地域の特色や役割を明確にしたまちづくりビジョンを構築する。 広域道路の早期開通推進、ガイドウェイバスを津久井地域まで延長しモータープールを設置 交通渋滞の解消及び自然環境保全にも配慮
22 相	緑と水という自然をまちづくりに生かす 活力あるまち、潤いのあるまち、多くの観光客が訪れたくなるまち、風格と落ち着きのあるま ちを作る。 4つの鉄道網の輸送力増強と、鉄道とバスのネットワークづくり 京王線の津久井延伸、相模大野から津久井への幹線交通ルートの設置ができないか
23 城	地場産業である地元農産物、観光関連産業とリンクして地域振興・活性化を図る 他地域との関連を踏まえ、城山の特性を生かしたまちづくりのランドデザインを描き、着実 に実行すること。
24 城	津久井の自然を生かした生活居住区と相模原工業区の一体化 津久井広域道路の早期開通、京王線の延伸、バス路線の充実を望む。 津久井は自然と共存する教育の場 各市町の歴史、文化、伝統を大切にした特色あるまちづくりが重要 合併した後不便にならないよう、現在の庁舎をフル活用
25 津	津久井の自然を「緑特区」に 自然を売りにした経済観光特区として、首都圏の中でも特色のある地域として主張する。
26 津	新市は財政を重視し、経営感覚を強く持つ 財政を検討、提言する第三者機関の設置が望ましい。 道路網の連携強化、橋本以北のモノレール構想検討、地域指定の調整、環境保全地域対策、下 水道整備、都市空間の確保 水源、観光地域と調和するベンチャー企業や環境関連産業を育成 水資源利用の都市に対して水源税の要求を 文化・教育のレベルアップのため大学・研究所等の誘致や、芸術面への配慮が必要
27 津	津久井広域道路の延伸、橋本から城山町向原までの鉄道延伸 津久井町の人口減少の、最大のネックは交通問題である。
28 相	緑豊かな政令指定都市を視野に入れ、権限と財源を持った市民主導のまちづくりを 合併は市民主導のまちづくりをするための、自立するひとつの試金石になる
29 城	次世代を担う子供たちにすばらしいわがまちを提供するため、未来予想図を書く 合併を考える理由としてのビジョン（夢）が大切
30 湖	合併の目的を将来的に検討し、対等合併の形で地域特性を生かしたまちづくりを